

学校調査

1 小学校

(1) 学校数

学校数は 987 校（本校 983 校、分校 4 校）で、前年度に比べ 2 校（0.2%）増加しています。

設置者別にみると、国立 2 校（構成比 0.2%）、公立 984 校（同 99.7%）、私立 1 校（同 0.1%）となっています。（表 1-1, 統計表第 1 表, 第 9 表）

類型別にみると、複式学級のある学校（複式学級のみを含む）は 29 校（構成比 2.9%）で、前年度に比べ 1 校（3.3%）減少しています。特別支援学級のある学校（特別支援学級のみを含む）は 773 校（構成比 78.3%）で、前年度に比べ 32 校（4.3%）増加しています。（統計表第 6 表）

表 1-1 学校数及び学級数の推移（小学校）

区 分	学校数	学級数			1校当たりの学級数			単位：校，学級		
		国立	公立	私立	単式	複式	特別支援	愛知県	全 国	
平成15年度	991	2	988	1	14,672	13,599	72	1,001	14.8	11.5
16	991	2	988	1	14,985	13,849	75	1,061	15.1	11.7
17	989	2	986	1	15,237	14,034	66	1,137	15.4	11.9
18	985	2	982	1	15,482	14,207	63	1,212	15.7	12.1
19	987	2	984	1	15,661	14,289	63	1,309	15.9	12.2

(2) 学級数

学級数は 15,661 学級で、前年度に比べ 179 学級（1.2%）増加しています。

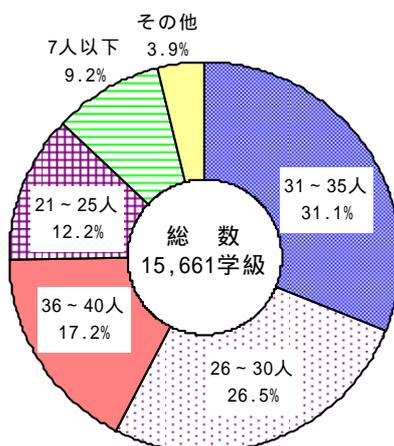
（表 1-1, 統計表第 1 表）

編制方式別にみると、単式学級は 14,289 学級（構成比 91.2%）、複式学級は 63 学級（同 0.4%）、特別支援学級は 1,309 学級（同 8.4%）となっています。

特別支援学級の内訳をみると、知的障害 693 学級（構成比 52.9%）、情緒障害 562 学級（同 42.9%）、病弱・身体虚弱 24 学級（同 1.8%）の順となっています。

（統計表第 9 表, 第 11 表）

図 1-1 収容人員別学級数の割合（小学校）



収容人員別学級数についてみると、31～35人学級は4,878学級（構成比31.1%）と最も多く、次いで26～30人学級は4,144学級（同26.5%）、36～40人学級は2,691学級（同17.2%）の順となっています。（図1-1、統計表第8表）

1校当たりの学級数は15.9学級で、前年度に比べ0.2学級増加しています。なお、全国平均は12.2学級となっています。（表1-1）

(3) 児童数

児童数は437,862人（男子223,820人、女子214,042人）で、前年度に比べ1,498人（0.3%）増加しています。昭和56年度のピーク時（684,239人）に比べ36.0%減少しているものの、6年連続の増加となっています。（表1-2、統計表第1表）

表1-2 児童数及び教員数（本務者）の推移（小学校）

単位：人，%

区分	児童数	対前年度 増減率	男	女	1学級当たりの児童数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの児童数	
					愛知県	全国		愛知県	全国
平成15年度	423,204	0.9	216,139	207,065	28.8	26.5	21,029	20.1	17.5
16	427,226	1.0	218,493	208,733	28.5	26.3	21,301	20.1	17.4
17	432,324	1.2	221,065	211,259	28.4	26.1	21,662	20.0	17.3
18	436,364	0.9	223,277	213,087	28.2	25.9	21,901	19.9	17.2
19	437,862	0.3	223,820	214,042	28.0	25.7	22,205	19.7	17.1

市町村別にみると、前年度に比べ春日井市の397人を始め35市町村で増加し、名古屋市477人を始め27市町村で減少しています。なお、西尾市は同数となっています。（表1-3）

表1-3 児童数増減上位市町村（小学校）

単位：人

市町村名	対前年度増加数 (35市町村)	市町村名	対前年度減少数 (27市町村)
春日井市	397	名古屋市	477
一宮市	273	瀬戸市	117
安城市	220	新城市	101
大府市	210	美浜町	80
三好町	182	小牧市	66

1学級当たりの児童数は28.0人で、前年度に比べ0.2人減少しています。なお、全国平均は25.7人となっています。（表1-2）

特別支援学級在籍児童数は4,250人で、前年度に比べ309人（7.8%）増加しています。内訳をみると、知的障害2,276人（構成比53.6%）、情緒障害1,854人（同43.6%）、病弱・身体虚弱60人（同1.4%）の順となっています。（統計表第11表）

児童数のうち外国人数は5,887人で、前年度に比べ526人（9.8%）増加しています。また、平成18年度間の帰国子女数は598人で、前年度間に比べ130人（27.8%）増加しています。（統計表第10表、付表第4表）

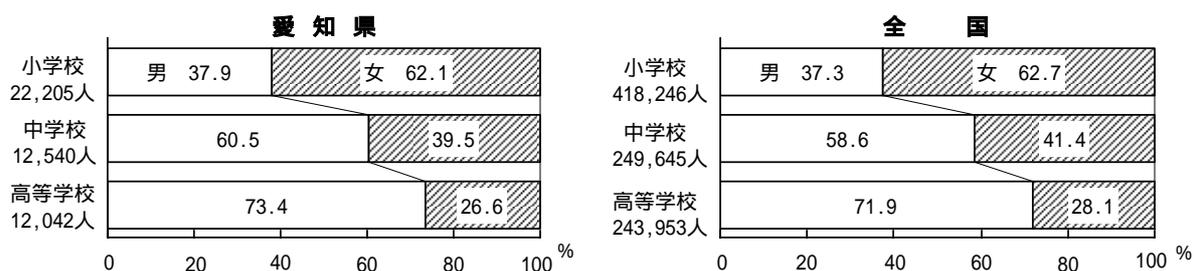
(4) 教員数

教員数は本務者 22,205 人、兼務者 1,524 人で、前年度に比べ本務者は 304 人(1.4%)、兼務者は 75 人(5.2%)それぞれ増加しています。(統計表第 1 表, 第 9 表)

本務教員は男子教員 8,407 人、女子教員 13,798 人となっています。女子教員の割合は 62.1% で、前年度に比べ 0.2 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 62.7% となっています。(図 1-2)

また、本務教員 1 人当たりの児童数は 19.7 人で、前年度に比べ 0.2 人(1.0%)減少しています。なお、全国平均は、17.1 人となっています。(表 1-2)

図 1-2 教員男女別構成比(本務者)



(5) 理由別長期欠席児童数

平成 18 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席児童数は 3,601 人で、前年度間に比べ 246 人(7.3%)増加しています。理由別にみると、不登校 1,706 人(構成比 47.4%)、病気 1,216 人(同 33.8%)の順となっています。

全児童数に占める長期欠席児童の割合は 0.83% で、前年度間に比べ 0.05 ポイント上昇しています。また、このうち「不登校」の割合は 0.39% で、0.03 ポイント上昇しています。

なお、全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 0.85% で、このうち「不登校」の割合の全国平均は 0.33% となっています。(表 1-4, 統計表第 12 表)

表 1-4 理由別長期欠席児童数の推移(小学校)

単位：人，%

区分	長期欠席児童数	全児童数に占める割合		病気	経済的理由	不登校	全児童数に占める割合		その他
		愛知県	全国				愛知県	全国	
平成14年度間	3,437	0.82	0.94	1,404	3	1,518	0.36	0.36	512
15	3,212	0.76	0.86	1,252	8	1,443	0.34	0.33	509
16	3,244	0.76	0.82	1,208	1	1,503	0.35	0.32	532
17	3,355	0.78	0.82	1,217	2	1,537	0.36	0.32	599
18	3,601	0.83	0.85	1,216	3	1,706	0.39	0.33	676

2 中学校

(1) 学校数

学校数は439校（本校436校、分校3校）で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立3校（構成比0.7%）、公立414校（同94.3%）、私立22校（同5.0%）となっています。（表1-5,統計表第1表）

類型別にみると、複式学級のある学校は2校（構成比0.5%）で、前年度に比べ1校（100.0%）増加しています。特別支援学級のある学校（特別支援学級のみを含む）は319校（構成比72.7%）で、前年度に比べ4校（1.3%）増加しています。（統計表第6表）

表 1-5 学校数及び学級数の推移（中学校）

区 分	学校数	学 級 数			学 級 数			1校当たりの学級数		
		国立	公立	私立	単式	複式	特別支援	愛知県	全 国	
平成15年度	436	3	412	21	6,291	5,844	2	445	14.4	10.7
16	437	3	413	21	6,219	5,745	2	472	14.2	10.7
17	438	3	413	22	6,256	5,768	1	487	14.3	10.7
18	439	3	414	22	6,296	5,793	1	502	14.3	10.8
19	439	3	414	22	6,428	5,899	2	527	14.6	10.9

(2) 学級数

学級数は6,428学級で、前年度に比べ132学級（2.1%）増加しています。

（表1-5,統計表第1表）

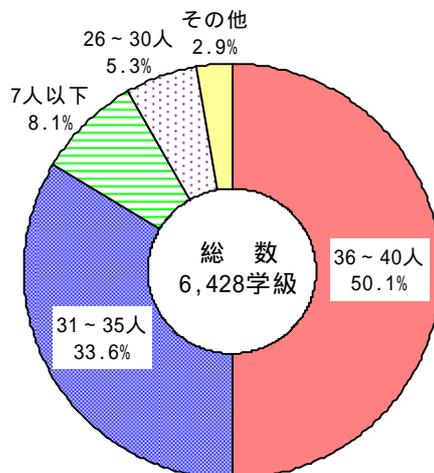
編制方式別にみると、単式学級は5,899学級（構成比91.8%）、複式学級は2学級（同0.0%）、特別支援学級は527学級（同8.2%）となっています。

（表1-5,統計表第13表）

特別支援学級の内訳をみると、知的障害322学級（構成比61.1%）、情緒障害196学級（同37.2%）、病弱・身体虚弱7学級（同1.3%）の順となっています。

（統計表第15表）

図 1-3 収容人員別学級数の割合（中学校）



収容人員別学級数についてみると、36～40人学級は3,221学級（構成比50.1%）と最も多く、次いで31～35人学級は2,158学級（同33.6%）、7人以下の学級は520学級（同8.1%）の順となっています。これを設置者別にみると、公立では36～40人学級が3,098学級（同50.6%）、私立でも36～40人学級が104学級（同37.8%）と最も多くなっています。（図1-3,統計表第8表）

1校当たりの学級数は14.6学級で、前年度に比べ0.3学級増加しています。なお、全国平均は10.9学級となっています。（表1-5）

(3) 生徒数

生徒数は211,452人（男子108,167人、女子103,285人）で、前年度に比べ3,927人（1.9%）増加しています。また、昭和61年度のピーク時（348,339人）に比べ39.3%減少しているものの、3年連続の増加となっています。（表1-6,統計表第1表）

表1-6 生徒数及び教員数（本務者）の推移（中学校）

単位：人，%

区 分	生徒数	対前年度 増減率	男		1学級当たりの生徒数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの生徒数	
					愛知県	全 国		愛知県	全 国
平成15年度	209,770	2.6	107,109	102,661	33.3	31.3	12,392	16.9	14.9
16	206,345	1.6	105,143	101,202	33.2	31.0	12,229	16.9	14.7
17	206,435	0.0	105,189	101,246	33.0	30.7	12,238	16.9	14.6
18	207,525	0.5	105,899	101,626	33.0	30.4	12,282	16.9	14.5
19	211,452	1.9	108,167	103,285	32.9	30.2	12,540	16.9	14.5

市町村別にみると、前年度に比べ名古屋市の1,095人を始め44市町で増加し、南知多町の38人を始め18市町村で減少しています。なお、美浜町は同数となっています。（表1-7）

表1-7 生徒数増減上位市町村（中学校）

単位：人

市町村名	対前年度増加数 (44市町)	市町村名	対前年度減少数 (18市町村)
名古屋市	1,095	南知多町	38
豊田市	229	田原市	37
春日井市	203	蟹江町	34
一宮市	181	碧南市	31
岡崎市	150	蒲郡市	27

1学級当たりの生徒数は32.9人で、前年度に比べ0.1人減少しています。なお、全国平均は30.2人となっています。（表1-6）

特別支援学級在籍生徒数は1,922人で、前年度に比べ106人（5.8%）増加しています。内訳をみると知的障害1,217人（構成比63.3%）、情緒障害682人（同35.5%）、病弱・身体虚弱16人（同0.8%）の順となっています。（統計表第15表）

生徒数のうち外国人数は2,178人で、前年度に比べ357人（19.6%）増加しています。また、平成18年度間の帰国子女数は209人で、前年度間に比べ15人（6.7%）減少しています。（統計表第14表,付表第4表）

(4) 教員数

教員数は本務者 12,540 人、兼務者 1,927 人で、前年度に比べ本務者は 258 人(2.1%)、兼務者は 14 人(0.7%)それぞれ増加しています。(統計表第 1 表, 第 13 表)

本務教員は男子教員 7,588 人、女子教員 4,952 人となっています。女子教員の割合は 39.5% で、前年度に比べ 0.6 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 41.4% となっています。(図 1-2)

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 16.9 人で、前年度と同数となっています。なお、全国平均は 14.5 人となっています。(表 1-6)

(5) 理由別長期欠席生徒数

平成 18 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席生徒数は 7,698 人で、前年度間に比べ 369 人(5.0%)増加しています。理由別にみると、不登校 6,152 人(構成比 79.9%)、病気 1,037 人(同 13.5%)の順となっています。

全生徒数に占める長期欠席生徒の割合は 3.71% で、前年度間に比べ 0.16 ポイント上昇しています。また、このうち「不登校」の割合は 2.96% で、0.07 ポイント上昇しています。

なお、全生徒数に占める長期欠席生徒の割合の全国平均は 3.76% で、このうち「不登校」の割合の全国平均は 2.86% となっています。(表 1-8, 統計表第 16 表)

表 1-8 理由別長期欠席生徒数の推移(中学校)

単位：人，%

区 分	長期欠席 生 徒 数	全生徒数に占める割合		病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	全生徒数に占める割合		そ の 他
		愛知県	全 国				愛知県	全 国	
平成14年度間	7,549	3.51	3.52	971	22	6,081	2.82	2.73	475
15	7,231	3.45	3.50	874	22	5,897	2.81	2.73	438
16	7,096	3.44	3.48	783	11	5,942	2.88	2.73	360
17	7,329	3.55	3.55	894	15	5,970	2.89	2.75	450
18	7,698	3.71	3.76	1,037	11	6,152	2.96	2.86	498

3 高等学校

(1) 学校数

学校数は 226 校(本校 224 校、分校 2 校)で、前年度に比べ 7 校(3.0%)減少しています。設置者別にみると、国立 2 校(構成比 0.9%)、公立 169 校(同 74.8%)、私立 55 校(同 24.3%)となっています。(表 1-9, 統計表第 1 表, 第 17 表)

課程別にみると、全日制 192 校(構成比 85.0%)、定時制 3 校(同 1.3%)、全日制・定時制併置 31 校(同 13.7%)となっています。(表 1-9, 統計表第 20 表)

表 1-9 学校数の推移（高等学校）

区 分	学校数	設 置 者 別			課 程 別			単位：校	
		国 立	公 立	私 立	全 日 制	定 時 制	全・定併置		
平成15年度	231	2	173	56	197	3	31		
16	231	2	172	56	196	3	31		
17	230	2	175	56	199	3	31		
18	233	2	175	56	199	3	31		
19	226	2	169	55	192	3	31		

(2) 学科数

学科数は 332 学科で、前年度に比べ 5 学科（ 1.5% ）減少しています。

学科別にみると、普通科が 199 学科（構成比 59.9%）と最も多く、次いで商業科 41 学科（同 12.3%）、工業科 34 学科（同 10.2%）の順となっています。

（図 1-4, 統計表第 21 表）

(3) 生徒数

生徒数は 187,017 人（男子 93,746 人、女子 93,271 人）で、前年度に比べ 3,447 人（ 1.8% ）減少しています。また、平成元年度のピーク時（310,411 人）に比べ 39.8% 減少し、18 年連続の減少となっています。（表 1-10）

表 1-10 生徒数及び教員数（本務者）の推移（高等学校）

区 分	生徒数	対前年度 増減率					教員数 (本務者)	単位：人，%	
			男	女	全 日 制	定 時 制		本務教員 1 人当たりの生徒数	
								愛知県	全 国
平成15年度	202,625	1.7	101,736	100,889	197,300	5,325	12,435	16.3	14.7
16	199,807	1.4	100,608	99,199	194,510	5,297	12,394	16.1	14.5
17	195,452	2.2	98,649	96,803	190,311	5,141	12,250	16.0	14.3
18	190,464	2.6	95,780	94,684	185,303	5,161	12,128	15.7	14.1
19	187,017	1.8	93,746	93,271	182,008	5,009	12,042	15.5	14.0

設置者別にみると、国立 930 人（構成比 0.5%）、公立 127,029 人（同 67.9%）、私立 59,058 人（同 31.6%）となっています。（統計表第 1 表）

課程別にみると、全日制 182,008 人、定時制 5,009 人で、前年度に比べ全日制は 3,295 人（ 1.8% ）、定時制は 152 人（ 2.9% ）それぞれ減少しています。

（表 1-10, 統計表第 18 表）

学科別にみると、普通科 138,012 人（構成比 73.8%）、工業科 17,955 人（同 9.6%）、商業科 14,900 人（同 8.0%）の順となっています。（図 1-4, 統計表第 19 表）

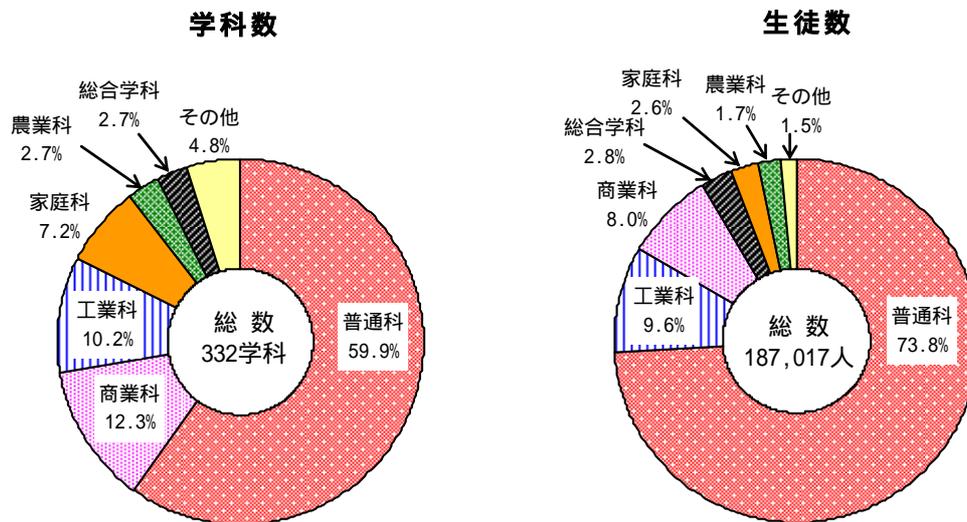
本科の入学状況をみると、入学者総数は 63,996 人（男子 32,050 人、女子 31,946 人）で、前年度に比べ 180 人（0.3%）増加しています。

入学者を課程別にみると、全日制は 62,211 人（男子 31,070 人、女子 31,141 人）で、前年度に比べ 209 人（0.3%）増加、定時制は 1,785 人（男子 980 人、女子 805 人）で、前年度に比べ 29 人（ 1.6% ）減少しています。入学者のうち他県所在の中

学校卒業者は 796 人で、入学者総数の 1.2% (前年度 1.1%) を占めています。また、入学者のうち過年度中学校卒業者は 556 人で、入学者総数の 0.9% (前年度 1.0%) を占めています。(統計表第 22 表)

平成 18 年度間の帰国子女数は 127 人で、前年度間に比べ 7 人 (5.2%) 減少しています。(付表第 4 表)

図 1-4 学科数及び学科別生徒数の割合 (高等学校)



(4) 教員数

教員数は本務者 12,042 人、兼務者 4,404 人で、前年度に比べ本務者は 86 人 (0.7%)、兼務者は 208 人 (4.5%) それぞれ減少しています。(統計表第 1 表, 第 17 表)

本務教員は男子教員 8,844 人、女子教員 3,198 人となっています。女子教員の割合は 26.6% で、前年度に比べ 0.6 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 28.1% となっています。(図 1-2)

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 15.5 人で、前年度に比べ 0.2 人減少しています。なお、全国平均は 14.0 人となっています。(表 1-10)

4 通信制高等学校

(1) 学校数

学校数は 6 校 (公立 2 校、私立 4 校) で、前年度と同数となっています。通信教育のみを行う独立校は公立 1 校で、全日制又は定時制の課程との併置校は 5 校となっています。(表 1-11, 統計表第 1 表)

(2) 生徒数

生徒数は 6,726 人 (男子 4,360 人、女子 2,366 人) で、前年度に比べ 182 人 (2.6%) 減少しています。(表 1-11, 統計表第 1 表, 第 23 表)

学科別にみると、普通科 4,845 人 (構成比 72.0%)、商業科 1,045 人 (同 15.5%)、工業科 836 人 (同 12.4%) の順となっています。(統計表第 24 表)

入学者は本年度が 1,941 人(男子 1,268 人、女子 673 人)、前年度間が 1,839 人(男子 1,219 人、女子 620 人)となっています。

また、前年度間の退学者は 504 人(男子 327 人、女子 177 人)となっています。
(統計表第 25 表)

(3) 教員数

教員数は本務者 77 人、兼務者 47 人で、前年度に比べ本務者は 7 人(8.3%)、兼務者は 1 人(2.1%)それぞれ減少しています。(統計表第 1 表)

本務教員は男子教員 63 人、女子教員 14 人で、女子教員の割合は 18.2%となっています。(表 1-11)

表 1-11 学校数、生徒数及び教員数(本務者)の推移(通信制高等学校)

区分	学校数			生徒数	対前年度 増減率	男女		教員数 (本務者)			本務教員 1人当りの 生徒数
	公立	私立	男女			男	女	男	女		
平成15年度	7 (1)	2 (1)	5	7,976	7.6	5,397	2,579	92	74	18	86.7
16	7 (1)	2 (1)	5	7,613	4.6	5,103	2,510	85	65	20	89.6
17	7 (1)	2 (1)	5	7,269	4.5	4,813	2,456	86	68	18	84.5
18	6 (1)	2 (1)	4	6,908	5.0	4,504	2,404	84	68	16	82.2
19	6 (1)	2 (1)	4	6,726	2.6	4,360	2,366	77	63	14	87.4

注:()書きは通信教育のみを行う独立校を再掲

5 大 学

(1) 学校数

学校数は 49 校で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立 4 校、公立 4 校、私立 41 校となっています。

(表 1-12, 統計表第 1 表, 第 26 表)

(2) 学生数

学生数は 186,701 人(男子 108,806 人、女子 77,895 人)で、前年度に比べ 1,828 人(1.0%)増加しています。

設置者別にみると、国立は 29,333 人(構成比 15.7%)、公立は 8,490 人(同 4.5%)、私立は 148,878 人(同 79.7%)となっています。(統計表第 1 表)

表 1-12 学生数の推移(大学)

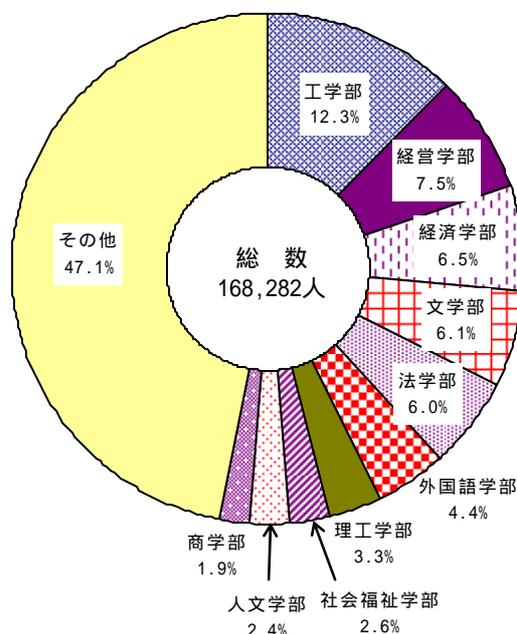
区分	学生数	対前年度 増減率	男女		学部	大学院	専攻科	別科	聴講生・ 選科生・ 研究生等
			男	女					
平成15年度	182,256	1.1	108,478	73,778	165,389	13,329	12	391	3,135
16	182,624	0.2	107,892	74,732	165,093	13,982	13	357	3,179
17	184,596	1.1	108,545	76,051	166,487	14,486	15	375	3,233
18	184,873	0.2	108,523	76,350	166,437	14,982	14	397	3,043
19	186,701	1.0	108,806	77,895	168,282	15,096	8	323	2,992

学生数の内訳は、学部 168,282 人(構成比 90.1%)、大学院 15,096 人(同 8.1%)、専攻科 8 人(同 0.0%)、別科 323 人(同 0.2%)、聴講生・選科生・研究生等 2,992 人(同 1.6%)となっています。前年度に比べ、学部は 1,845 人(1.1%)、大学院は 114 人(0.8%)それぞれ増加、専攻科は 6 人(42.9%)、別科は 74 人(18.6%)、聴講生・選科生・研究生等は 51 人(1.7%)それぞれ減少しています。

(表 1-12, 統計表第 26 表)

学部別学生数をみると、工学部が 20,760 人(構成比 12.3%)と最も多く、次いで経営学部 12,592 人(同 7.5%)、経済学部 10,866 人(同 6.5%)の順となっています。また、学部学生のうち女子学生の割合は 42.7% で、前年度に比べ 0.4 ポイント上昇しています。(図 1-5, 統計表第 27 表)

図 1-5 学部別学生数の割合 (大学(学部))

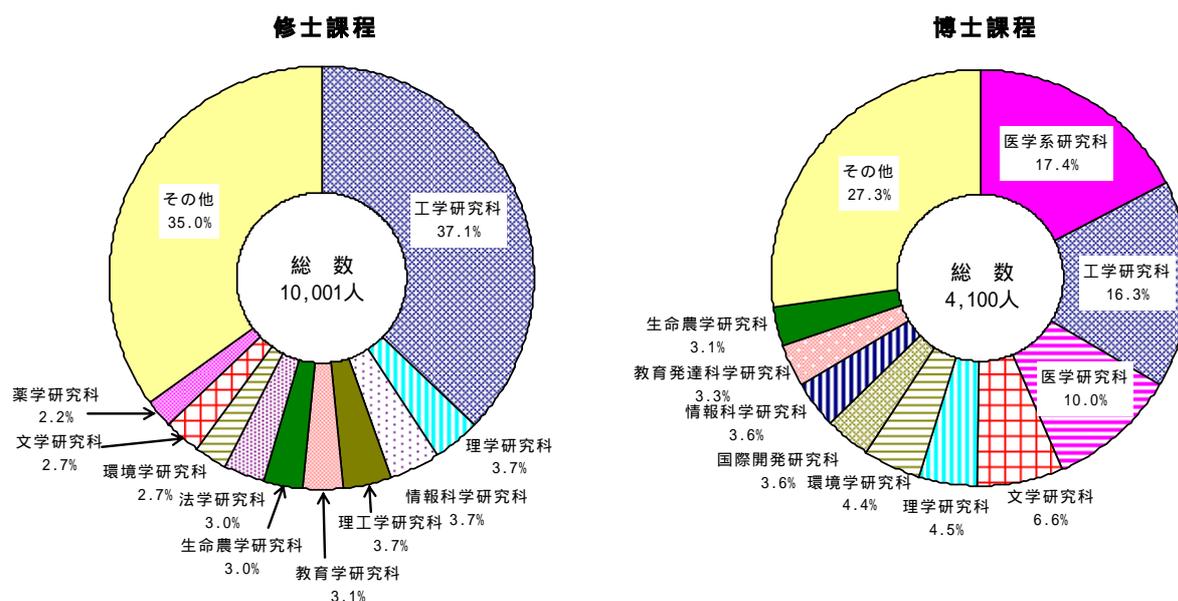


大学院学生数は、修士課程(修士課程及び博士前期課程) 10,001 人、博士課程(博士後期課程及び医・歯学の博士課程) 4,100 人、専門職学位課程 995 人で、前年度に比べ修士課程は 14 人(0.1%)、専門職学位課程は 172 人(20.9%)それぞれ増加、博士課程は 72 人(1.7%)減少しています。(統計表第 26 表)

専攻別にみると、修士課程は工学研究科が 3,713 人(構成比 37.1%)、博士課程は医学系研究科が 712 人(同 17.4%)とそれぞれ最も多くなっています。

(図 1-6, 統計表第 30 表)

図 1-6 研究学科別学生数の割合（大学院）



学部入学状況をみると、入学志願者数は 205,553 人で、前年度に比べ 4,795 人（2.3%）減少、入学者数は 41,704 人で、前年度に比べ 1,121 人（2.8%）増加しています。入学倍率は 4.9 倍で、前年度に比べ 0.3 ポイント低下しています。また、学部別にみると、医学部（群）（専門課程）（14.5 倍）、薬学部（4 年制）（12.5 倍）、国際英語学部（11.1 倍）の順で高くなっています。

（表 1-13, 図 1-7, 統計表第 28 表, 第 29 表）

表 1-13 入学志願者数及び入学者数の推移（大学(学部)）

単位：人，%

区分	入学志願者数	入学者数	入学倍率		
			高等学校新卒者数	入学者数に占める割合	
平成15年度	218,089	39,901	34,418	86.3	5.5
16	213,309	39,953	34,597	86.6	5.3
17	221,222	41,055	35,930	87.5	5.4
18	210,348	40,583	36,334	89.5	5.2
19	205,553	41,704	37,756	90.5	4.9

入学者のうち高等学校新卒者の占める割合は 90.5% で、前年度に比べ 1.0 ポイント上昇しています。また、学部別にみると、生活科学部（99.6%）、保育学部（99.3%）、ヒューマンケア学部（98.8%）などが高くなっているのに対し、医学部（群）（専門課程）（36.1%）、国際文化学部（38.5%）、薬学部（4 年制）（47.7%）などが低くなっています。（図 1-8, 統計表第 29 表）

図 1-7 入学倍率の高い学部（大学(学部)）

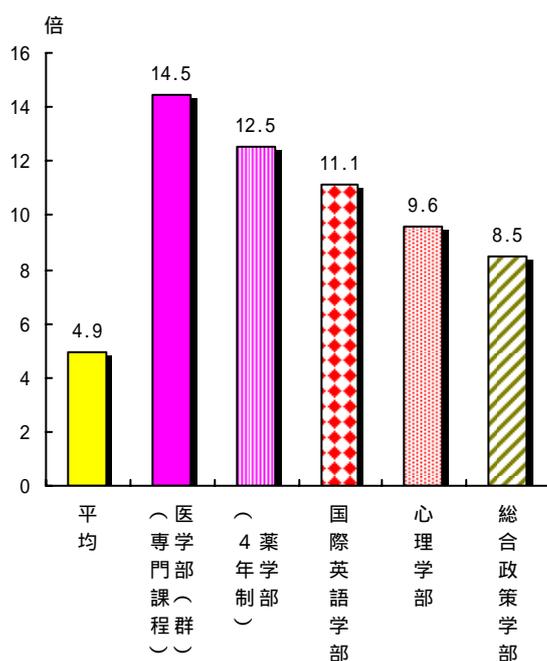
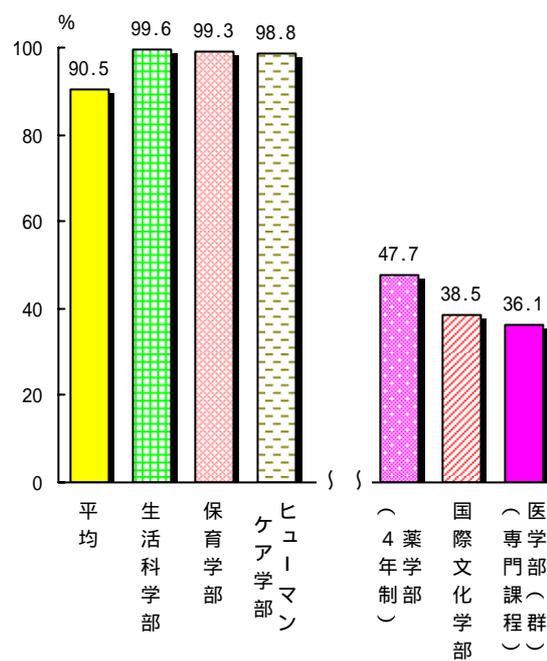


図 1-8 高等学校新卒者の占める割合の高い学部及び低い学部（大学(学部)）



また、県内大学の入学者に占める県内高等学校出身者の割合は 61.7%で、前年度に比べ 0.6 ポイント上昇しています。（表 1-14, 統計表第 29 表）

表 1-14 設置者別入学者数（大学(学部)）

単位：人，%

区分	入学者数	所在地県内高等学校出身者数		男	所在地県内高等学校出身者数		女	所在地県内高等学校出身者数	
		入学者数に占める割合	入学者数に占める割合		入学者数に占める割合	入学者数に占める割合			
計	41,704	25,723	61.7	23,340	13,929	59.7	18,364	11,794	64.2
国立	4,356	2,619	60.1	2,935	1,671	56.9	1,421	948	66.7
公立	1,715	1,073	62.6	585	362	61.9	1,130	711	62.9
私立	35,633	22,031	61.8	19,820	11,896	60.0	15,813	10,135	64.1
全国	613,613	251,613	41.0	355,847	140,287	39.4	257,766	111,326	43.2

(3) 教員数

教員数は本務者 9,999 人、兼務者 10,080 人で、前年度に比べ本務者は 367 人（3.8%）、兼務者は 290 人（3.0%）それぞれ増加しています。設置者別にみると、国立は本務者 2,892 人、兼務者 474 人、公立は本務者 828 人、兼務者 1,365 人、私立は本務者 6,279 人、兼務者 8,241 人となっています。（統計表第 1 表）

また、本務教員 1 人当たりの学生数は 18.7 人となっています。

6 短期大学

(1) 学校数

学校数は 27 校で、前年度に比べ 1 校（3.6%）減少しています。設置者別にみると、私立が 27 校となっています。（統計表第 1 表, 第 31 表）

(2) 学生数

学生数は12,141人（男子791人、女子11,350人）で、前年度に比べ823人（6.3%）減少しています。（表1-15,統計表第1表）

学生数の内訳は本科11,932人（構成比98.3%）、専攻科150人（同1.2%）、聴講生・選科生・研究生等59人（同0.5%）となっています。これを前年度と比べると、本科は865人（6.8%）減少、専攻科は11人（7.9%）、聴講生・選科生・研究生等は31人（110.7%）それぞれ増加しています。

（表1-15,統計表第31表）

表1-15 学生数の推移（短期大学）

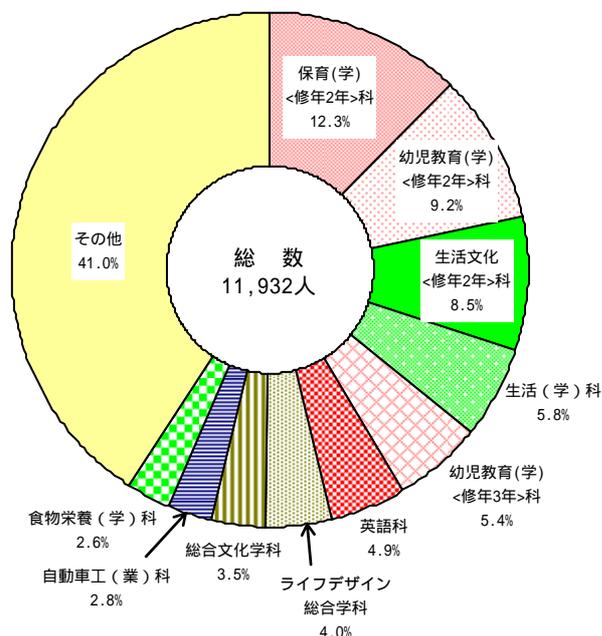
単位：人，%

区分	学生数	対前年度増減率	男	女	本科	専攻科	別科	聴講生・選科生・研究生等
平成15年度	15,005	6.0	1,046	13,959	14,706	200	-	99
16	14,234	5.1	1,092	13,142	13,934	222	-	78
17	13,547	4.8	983	12,564	13,302	196	-	49
18	12,964	4.3	895	12,069	12,797	139	-	28
19	12,141	6.3	791	11,350	11,932	150	-	59

本科学生数を学科別にみると、保育（学）＜修年2年＞科が1,470人（構成比12.3%）と最も多く、次いで幼児教育（学）＜修年2年＞科1,103人（同9.2%）、生活文化＜修年2年＞科1,018人（同8.5%）の順となっています。また、本科学生数のうち女子学生の割合は93.5%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇しています。（図1-9,統計表第32表）

本科の入学状況をみると、入学志願者数は11,192人で、前年度に比べ2,567人（18.7%）、入学者数は5,444人で、前年度に比べ632人（10.4%）それぞれ減少しています。入学倍率は2.1倍で、前年度に比べ0.2ポイント低下しています。（統計表第33表,第34表）

図1-9 学科別学生数の割合（短期大学(本科)）



また、県内短期大学入学者に占める県内高等学校出身者の割合は 71.2%で、前年度に比べ 1.0 ポイント低下しています。

入学者のうち高等学校新卒者の割合は 96.0%で、前年度と同率となっています。
(表 1-16, 統計表第 34 表)

表 1-16 設置者別入学者数(短期大学(本科))

単位:人, %

区 分	入学者数	所在地県内高等学校出身者数		男	所在地県内高等学校出身者数		女子入学者数に占める割合	女	所在地県内高等学校出身者数		女子入学者数に占める割合
		所在地県内高等学校出身者数	入学者数に占める割合		所在地県内高等学校出身者数	女子入学者数に占める割合			所在地県内高等学校出身者数	女子入学者数に占める割合	
計	5,444	3,878	71.2	335	213	63.6	5,109	3,665	71.7		
私立	5,444	3,878	71.2	335	213	63.6	5,109	3,665	71.7		
全国	84,596	53,558	63.3	9,154	4,986	54.5	75,442	48,572	64.4		

(3) 教員数

教員数は本務者 663 人、兼務者 1,519 人で、前年度に比べ本務者は 3 人(0.5%)、兼務者は 8 人(0.5%)それぞれ増加しています。(統計表第 1 表, 第 3 表)

また、本務教員 1 人当たりの学生数は 18.3 人となっています。

7 特別支援学校

(1) 学校数

平成 19 年度に盲学校・聾学校・養護学校の制度を一本化した特別支援学校の学校数は 31 校(国立 1 校、公立 30 校)で、前年度(以下、本項目については盲学校・聾学校・養護学校の合計数)と同数となっています。

障害種類別にみると、視覚障害 2 校、聴覚障害 5 校、知的障害 15 校、肢体不自由 8 校、病弱・身体虚弱 1 校となっています。(表 1-17, 統計表第 1 表, 第 36 表)

表 1-17 学校数、学級数及び在学者数の推移(特別支援学校)

単位:校, 学級, 人

区 分	特別支援学校			盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数
平成15年度	2	53	218	5	116	525	22	978	4,683
16	2	56	219	5	115	524	23	1,023	4,842
17	2	58	216	5	125	533	23	1,057	5,003
18	2	58	202	5	125	543	24	1,074	5,121
19	31	1,299	6,102

(2) 学級数

学級数は 1,299 学級で、前年度に比べ 42 学級(3.3%)増加しています。

障害種類別にみると、知的障害 585 学級(構成比 45.0%)、知的障害と肢体不自由の複合 322 学級(同 24.8%)、肢体不自由 133 学級(同 10.2%)の順となっています。(表 1-17, 統計表第 1 表, 第 36 表)

(3) 在学者数

在学者数は6,102人で、前年度に比べ236人(4.0%)増加しています。

障害種類別にみると、知的障害3,686人(構成比60.4%)、知的障害と肢体不自由の複合901人(同14.8%)、肢体不自由585人(同9.6%)の順となっています。

(表1-17,統計表第1表,第36表)

幼・小・中・高等部別にみると、幼稚部122人、小学部2,011人、中学部1,327人、高等部2,642人となっています。また、高等部在学者数を学科別にみると、普通科が2,178人と最も多く、全体の82.4%を占めています。(統計表第36表,第37表)

通学状況を見ると、家庭からの通学者が5,519人(構成比90.4%)と最も多く、次いで児童福祉施設からの通学者259人(同4.2%)、寄宿舍からの通学者199人(同3.3%)の順となっています。(統計表第38表)

(4) 教員数

教員数は、本務者2,923人、兼務者189人で、前年度に比べ本務者は85人(3.0%)、兼務者は22人(13.2%)それぞれ増加しています。(統計表第1表,第36表)

また、本務教員1人当たりの在学者数は2.1人で、前年度と同数となっています。

8 幼稚園

(1) 園数

幼稚園数は531園で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立1園、公立100園、私立430園となっており、私立が全体の81.0%(前年度80.8%)を占めています。

私立を設置者別にみると、学校法人立416園、宗教法人立11園、個人立3園となっています。(表1-18,統計表第1表,第39表,第41表)

表1-18 園数及び学級数の推移(幼稚園)

区分	園数	単位:園,学級					
		学級数			1園当たりの学級数		
		国立	公立	私立	愛知県	全国	
平成15年度	532	1	105	426	4,003	7.5	5.2
16	532	1	104	427	4,037	7.6	5.2
17	533	1	102	430	4,033	7.6	5.3
18	531	1	101	429	4,026	7.6	5.3
19	531	1	100	430	4,003	7.5	5.3

(2) 学級数

学級数は4,003学級で、前年度に比べ23学級(0.6%)減少しています。

設置者別にみると、国立5学級、公立541学級、私立3,457学級で、前年度と比べ国立は同数、公立は11学級(2.0%)、私立は12学級(0.3%)それぞれ減少しています。(統計表第1表,第39表,第41表)

1園当たりの学級数は7.5学級で、前年度に比べ0.1学級減少しています。(表1-18)

(3) 園児数

園児数は101,599人(男子51,341人、女子50,258人)で、前年度に比べ999人(1.0%)減少しています。(表1-19,統計表第1表,第39表,第41表)

年齢別にみると、3歳児32,182人(構成比31.7%)、4歳児34,679人(同34.1%)、5歳児34,738人(同34.2%)で、前年度と比べ3歳児は177人(0.5%)、4歳児は160人(0.5%)、5歳児は662人(1.9%)それぞれ減少しています。

(表1-19,統計表第1表,第39表,第41表)

表1-19 年齢別園児数及び教員数(本務者)の推移(幼稚園)

区分	園児数	対前年度 増減率	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの園児数	
									愛知県	全国
平成15年度	104,283	0.3	52,533	51,750	32,534	36,351	35,398	5,478	19.0	16.2
16	104,562	0.3	52,619	51,943	32,824	35,638	36,100	5,538	18.9	16.0
17	103,471	1.0	52,237	51,234	32,329	35,631	35,511	5,571	18.6	15.8
18	102,598	0.8	51,988	50,610	32,359	34,839	35,400	5,609	18.3	15.6
19	101,599	1.0	51,341	50,258	32,182	34,679	34,738	5,632	18.0	15.3

1園当たりの園児数は191.3人で、前年度に比べ1.9人減少し、1学級当たりの園児数は25.4人で、前年度と比べ0.1人減少しています。

設置者別にみると、国立156人(構成比0.2%)、公立12,735人(同12.4%)、私立88,864人(同87.5%)となっています。(統計表第1表,第39表,第41表)

(4) 教員数

教員数は本務者5,632人、兼務者774人で、前年度に比べ本務者は23人(0.4%)、兼務者は70人(9.9%)それぞれ増加しています。教育補助員は本務者28人、兼務者79人で、前年度に比べ本務者は4人(16.6%)増加、兼務者は3人(3.7%)減少しています。本務教員(本務の教育補助員を除く)1人当たりの園児数は18.0人で、前年度に比べ0.3人減少しています。

(表1-19,統計表第1表,第2表,第3表,第39表,第41表)

9 専修学校

(1) 学校数

学校数は187校で、前年度に比べ5校(2.6%)減少しています。

設置者別にみると、公立16校、私立171校となっています。

(表1-20,統計表第1表,第42表)

(2) 学科数

学科数は562学科で、前年度と比べ21学科(3.6%)減少しています。

学科分野別にみると、工業関係120学科(構成比21.4%)、文化・教養関係112学科(同19.9%)、医療関係107学科(同19.0%)の順となっています。

(図1-10,統計表第43表)

表 1-20 設置者別学校数及び課程別生徒数の推移（専修学校）

単位:校、人、%

区分	学校数	設置者別			生徒数	対前年度 増減率	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
		国立	公立	私立							
平成15年度	200	4	19	177	55,079	4.8	26,934	28,145	7,762	47,196	121
16	196	-	18	178	55,097	0.0	27,348	27,749	7,524	47,443	130
17	193	-	16	177	52,833	4.1	26,227	26,606	7,242	45,484	107
18	192	-	16	176	51,187	3.1	25,207	25,980	6,712	43,476	999
19	187	-	16	171	48,009	6.2	23,252	24,757	6,322	40,929	758

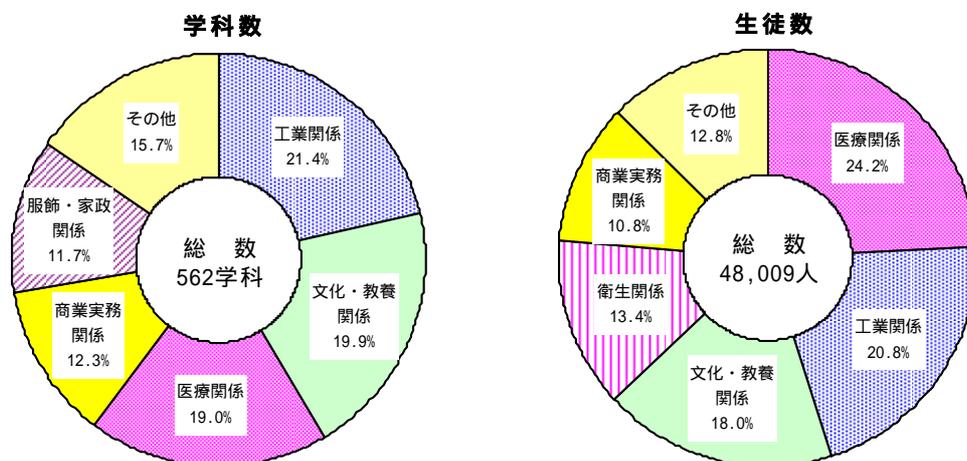
(3) 生徒数

生徒数は 48,009 人（男子 23,252 人、女子 24,757 人）で、前年度に比べ 3,178 人（ 6.2% ）減少しています。（統計表第 1 表, 第 42 表, 第 44 表）

課程別にみると、高等課程 6,322 人（構成比 13.2%）、専門課程 40,929 人（同 85.3%）、一般課程 758 人（同 1.6%）で、前年度に比べ高等課程は 390 人（ 5.8%）、専門課程は 2,547 人（ 5.9%）、一般課程は 241 人（ 24.1%）それぞれ減少しています。（表 1-20, 統計表第 44 表）

学科分野別にみると、医療関係学科が 11,600 人（構成比 24.2%）と最も多く、次いで工業関係学科 10,007 人（同 20.8%）、文化・教養関係学科 8,661 人（同 18.0%）の順となっています。（図 1-10, 統計表第 44 表）

図 1-10 分野別学科数及び生徒数の割合（専修学校）



(4) 教員数

教員数は本務者 2,718 人、兼務者 6,041 人で、前年度に比べ本務者は 2 人（ 0.1% ）、兼務者は 15 人（ 0.2% ）それぞれ増加しています。（統計表第 1 表, 第 42 表）

10 各種学校

(1) 学校数

学校数は118校で、前年度に比べ5校（4.1%）減少しています。

（表1-21，統計表第1表，第45表）

なお、設置者はすべて私立となっています。

表1-21 学校数及び生徒数の推移（各種学校）

単位：校,人,%

区分	学校数	生徒数	対前年度増減率	男	女
平成15年度	138	22,785	5.0	13,312	9,473
16	133	21,123	7.3	12,206	8,917
17	130	19,072	9.7	10,865	8,207
18	123	14,375	24.6	8,072	6,303
19	118	13,957	2.9	7,869	6,088

(2) 課程数

課程数は131課程で、前年度に比べ3課程（2.2%）減少しています。

課程別にみると、商業実務関係のうちその他（珠算など）50課程（構成比38.2%）、外国人学校22課程（同16.8%）、和洋裁13課程（同9.9%）の順となっています。

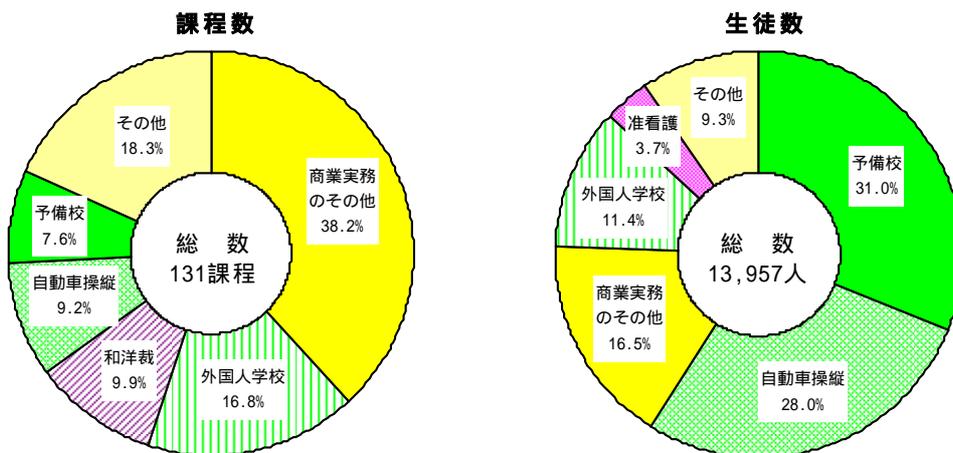
（図1-11，統計表第46表）

(3) 生徒数

生徒数は13,957人（男子7,869人、女子6,088人）で、前年度に比べ418人（2.9%）減少しています。（表1-21，統計表第1表，第45表，第46表）

課程別にみると、予備校課程が4,326人（構成比31.0%）と最も多く、次いで自動車操縦課程3,905人（同28.0%）、商業実務関係のうちその他（珠算など）の課程2,306人（同16.5%）の順となっています。（図1-11，統計表第46表）

図1-11 課程別課程数及び生徒数の割合（各種学校）



(4) 教員数

教員数は本務者776人、兼務者620人で、前年度に比べ本務者は12人（1.5%）、兼務者は4人（0.6%）それぞれ減少しています。（統計表第1表，第45表）

卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業生数

卒業生数は 68,662 人（男子 34,964 人、女子 33,698 人）で、前年に比べ 202 人（0.3%）増加し、8 年ぶりの増加となっています。

進路別にみると、高等学校等進学者 66,602 人（構成比 97.0%）、就職者 744 人（同 1.1%）、専修学校（高等課程）進学者 142 人（同 0.2%）、専修学校（一般課程）等入学者 74 人（同 0.1%）、公共職業能力開発施設等入学者 55 人（同 0.1%）、前記以外の者等 1,045 人（同 1.5%）となっています。

なお、高等学校等進学者、専修学校（高等課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 65 人（卒業生の 0.1%）を含む就職者総数は 809 人となっています。（表 2-1、統計表第 47 表）

表 2-1 進路別卒業生数（中学校）

区 分		平成 19 年 3 月			平成 18 年 3 月		
		卒業生数	構成比	対前年増減率	卒業生数	構成比	対前年増減率
卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)		68,662	100.0	0.3	68,460	100.0	1.1
A 高等学校等進学者		66,602	97.0	0.5	66,301	96.8	1.0
高等学校	本科	65,835	95.9	0.3	65,612	95.8	1.0
	全日制	62,147	90.5	0.3	61,963	90.5	1.1
	定時制	1,272	1.9	1.9	1,248	1.8	8.6
	通信制	2,416	3.5	0.6	2,401	3.5	4.4
中等教育 学校 後期課程	本科	-	-	-	-	-	-
	全日制	-	-	-	-	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-
別科		-	-	-	-	-	-
高等専門学校		227	0.3	3.0	234	0.3	1.7
特別支援 学校	高等部本科	540	0.8	18.7	455	0.7	4.8
	高等部別科	-	-	-	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者		142	0.2	18.3	120	0.2	35.1
C 専修学校（一般課程）等入学者		74	0.1	14.0	86	0.1	7.5
専修学校（一般課程）		17	0.0	39.3	28	0.0	6.7
各種学校		57	0.1	1.7	58	0.1	7.9
D 公共職業能力開発施設等入学者		55	0.1	6.8	59	0.1	24.4
E 就職者		744	1.1	8.3	811	1.2	4.7
F 前記以外の者、G 死亡・不詳の者		1,045	1.5	3.5	1,083	1.6	1.0
再掲	Aのうち通信制課程を除く進学者	64,186	93.5	0.4	63,900	93.3	0.8
	Aのうち就職している者	63	0.1	20.3	79	0.1	27.4
	Bのうち就職している者	2	0.0	-	-	-	-
	Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-
Dのうち就職している者		-	-	-	-	-	-
高等学校等入学志願者		64,619			64,312		
高等学校等進学率		97.0			96.8		
男		96.6			96.4		
女		97.4			97.3		
通信制課程を除く 高等学校等進学率		93.5			93.3		
男		92.5			92.5		
女		94.5			94.2		
就職率		1.2			1.3		
男		1.7			1.9		
女		0.6			0.7		

注：高等学校等入学志願者には、通信制高等学校入学志願者を含みません。

(2) 進路状況

ア 高等学校等進学者数

高等学校等進学者数は 66,602 人（男子 33,783 人、女子 32,819 人）で、前年に比べ 301 人（0.5%）増加しています。

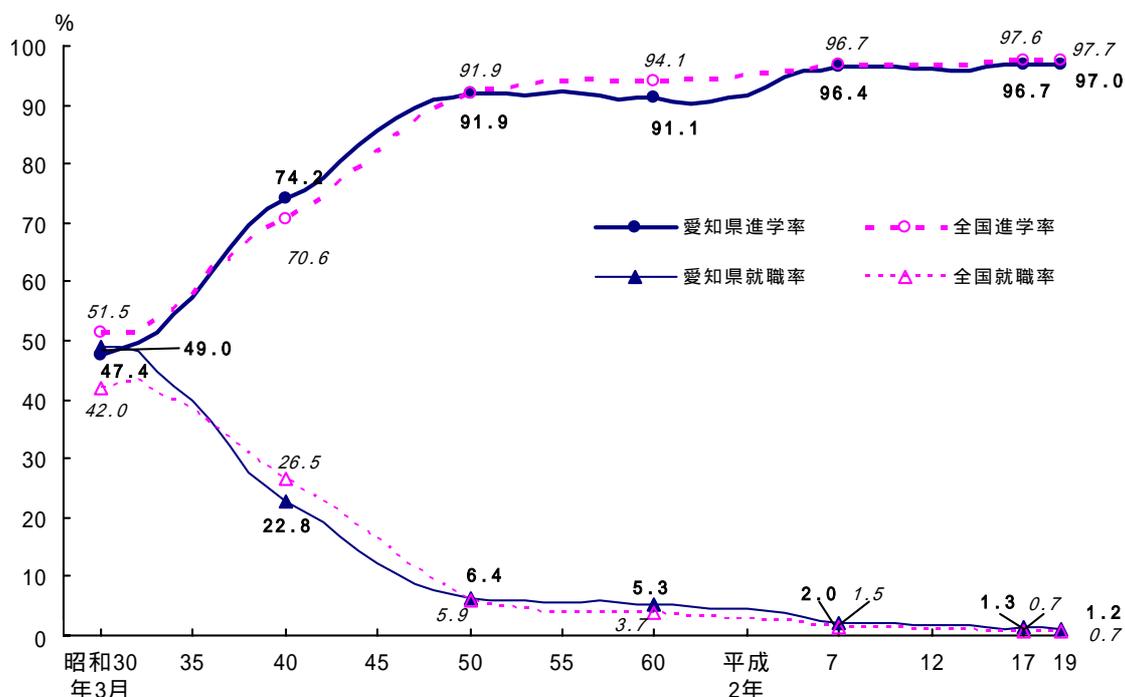
進学先をみると、高等学校全日制 62,147 人（高等学校等進学者数の 93.3%）、同通信制 2,416 人（同 3.6%）、同定時制 1,272 人（同 1.9%）、特別支援学校高等部本科 540 人（同 0.8%）、高等専門学校 227 人（0.3%）の順となっています。

高等学校等進学率は 97.0% で、前年に比べ 0.2 ポイント上昇し、過去最高となりました。男女別にみると、男子 96.6%、女子 97.4% で、前年に比べ男子は 0.2 ポイント、女子は 0.1 ポイントそれぞれ上昇しています。

なお、全国平均は 97.7%（男子 97.4%、女子 98.0%）となっています。

（表 2-1, 図 2-1, 統計表第 47 表）

図 2-1 愛知県及び全国の高等学校等進学率及び就職率の推移（中学校）



イ 専修学校（高等課程）進学者数

専修学校（高等課程）進学者数は 142 人（男子 61 人、女子 81 人）で、前年に比べ 22 人（18.3%）増加しており、卒業生数の 0.2%（男子 0.2%、女子 0.2%）を占めています。（表 2-1, 表 2-2, 統計表第 47 表）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 74 人（男子 26 人、女子 48 人）で、前年に比べ 12 人（14.0%）減少しており、卒業生数の 0.1%（男子 0.1%、女子 0.1%）を占めています。

入学先をみると、専修学校（一般課程）17 人、各種学校 57 人で、前年に比べ専修学校（一般課程）は 11 人（39.3%）、各種学校は 1 人（1.7%）それぞれ減

少しています。卒業者数に占める割合は、専修学校（一般課程）0.0%、各種学校0.1%となっています。（表2-1,表2-2,統計表第47表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は55人（男子50人、女子5人）で、前年に比べ4人（6.8%）減少しており、卒業者数の0.1%（男子0.1%、女子0.0%）を占めています。（表2-1,表2-2,統計表第47表）

表2-2 専修学校（高等課程）進学者数等の推移（中学校）

単位：人

区 分	専修学校 （高等課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校（一般課程）等		公共職業能力 開発施設等
			専修学校 （一般課程）	各種学校	
平成15年3月	195	123	50	73	91
16	191	97	26	71	70
17	185	93	30	63	78
18	120	86	28	58	59
19	142	74	17	57	55

オ 就職者総数

就職者総数は809人（男子597人、女子212人）で、前年に比べ81人（9.1%）減少しています。

就職率は1.2%で、前年に比べ0.1ポイント低下しています。男女別にみると、男子1.7%、女子0.6%で、前年に比べ男子は0.2ポイント、女子は0.1ポイントそれぞれ低下しています。

なお、全国平均は0.7%となっています。（表2-1,図2-1,統計表第47表）

就職先を産業別にみると、第1次産業10人（構成比1.2%）、第2次産業511人（同63.2%）、第3次産業261人（同32.3%）となっており、構成比を前年と比べると、第1次産業は0.3ポイント、第2次産業は5.0ポイントそれぞれ上昇、第3次産業は5.6ポイント低下しています。

就職先を県内・県外別にみると、県内785人（構成比97.0%）、県外24人（同3.0%）となっています。県内就職率97.0%（全国第3位）は、前年と比べ1.0ポイント低下しています。（表2-3,統計表第48表）

表2-3 産業別・県内県外別就職者数（中学校）

単位：人，%

区 分	平成19年3月					平成18年3月				
	計	構成比	対前年 増減率	男	女	計	構成比	対前年 増減率	男	女
就職者総数	809	100.0	9.1	597	212	890	100.0	2.8	670	220
第1次産業	10	1.2	25.0	9	1	8	0.9	27.3	7	1
第2次産業	511	63.2	1.4	448	63	518	58.2	1.0	465	53
第3次産業	261	32.3	22.6	118	143	337	37.9	3.7	177	160
前記以外のもの	27	3.3	0.0	22	5	27	3.0	15.6	21	6
県 内	785	97.0	10.0	583	202	872	98.0	1.7	655	217
県 外	24	3.0	33.3	14	10	18	2.0	37.9	15	3

2 高等学校

(1) 卒業生数

卒業生数は 62,399 人（男子 31,478 人、女子 30,921 人）で、前年に比べ 1,316 人（ 2.1% ）減少して 5 年連続の減少となっています。

進路別にみると、大学等進学者 36,018 人（構成比 57.7%）、就職者 12,089 人（同 19.4%）、専修学校（専門課程）進学者 8,184 人（同 13.1%）、専修学校（一般課程）等入学者 3,447 人（同 5.5%）、一時的な仕事に就いた者 563 人（同 0.9%）、公共職業能力開発施設等入学者 99 人（同 0.2%）、前記以外の者等 1,999 人（同 3.2%）となっています。

なお、大学等進学者のうち就職している者 2 人（卒業生数の 0.0%）、専修学校（専門課程）進学者のうち就職している者 30 人（同 0.0%）、専修学校（一般課程）等入学者のうち就職している者 4 人（同 0.0%）を含む就職者総数は、12,125 人となっています。（表 2-4、統計表第 49 表）

表 2-4 進路別卒業生数（高等学校）

区 分	平成 19 年 3 月			平成 18 年 3 月		
	人数	構成比	対前年増減率	人数	構成比	対前年増減率
卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G+H)	62,399	100.0	2.1	63,715	100.0	0.5
A 大学等進学者	36,018	57.7	1.6	35,463	55.7	2.3
大学（学部）	31,646	50.7	3.5	30,571	48.0	3.0
短期大学（本科）	4,264	6.8	10.4	4,757	7.5	2.3
大学・短期大学の 通信教育部及び放送大学	11	0.0	66.7	33	0.1	94.1
その他	97	0.2	4.9	102	0.2	1.9
B 専修学校（専門課程）進学者	8,184	13.1	10.7	9,165	14.4	7.1
C 専修学校（一般課程）等入学者	3,447	5.5	8.9	3,783	5.9	12.4
専修学校（一般課程・高等課程）	72	0.1	63.8	199	0.3	26.6
各 種 学 校	3,375	5.4	5.8	3,584	5.6	11.5
D 公共職業能力開発施設等入学者	99	0.2	8.3	108	0.2	18.2
E 就 職 者	12,089	19.4	2.0	11,850	18.6	4.4
F 一時的な仕事に就いた者	563	0.9	22.7	728	1.1	15.5
G 前記以外の者、H 死亡・不詳の者	1,999	3.2	23.6	2,618	4.1	7.4
再 Aのうち就職している者	2	0.0	100.0	1	0.0	80.0
Bのうち就職している者	30	0.0	328.6	7	0.0	61.1
Cのうち就職している者	4	0.0	300.0	1	0.0	92.3
掲 Dのうち就職している者	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
大学等入学志願者	40,171			39,963		
大学等進学率	57.7			55.7		
男	57.2			55.1		
女	58.3			56.2		
通信教育部を除く 大学等進学率	57.7			55.6		
男	57.2			55		
女	58.2			56.2		
就 職 率	19.4			18.6		
男	21.3			20.6		
女	17.5			16.6		

注：大学等入学志願者とは、大学（学部）及び短期大学（本科）の入学志願者の合計です。

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

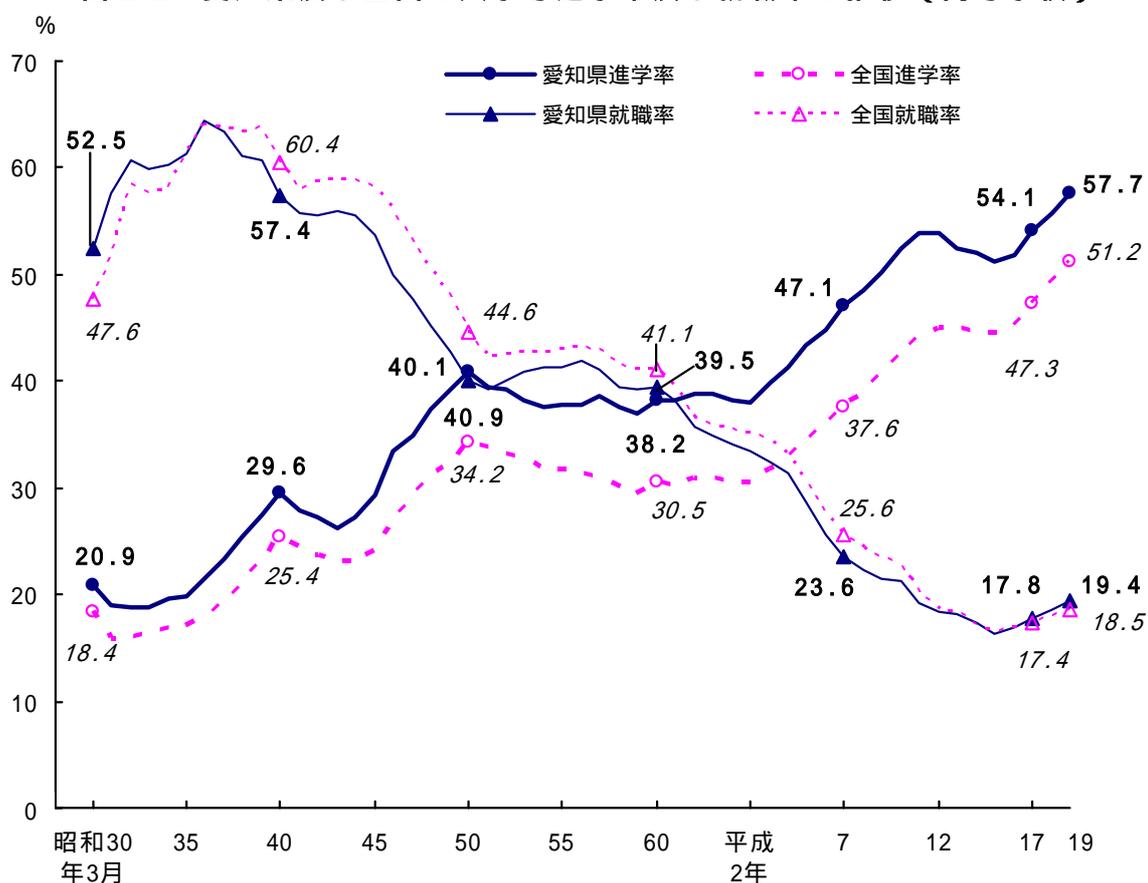
大学等進学者数は 36,018 人（男子 18,006 人、女子 18,012 人）で、前年に比べ 555 人（1.6%）増加しています。

進学先をみると、大学（学部）31,646 人（大学等進学者数の 87.9%）、短期大学（本科）4,264 人（同 11.8%）、高等学校の専攻科 94 人（同 0.3%）の順となっています。

大学等進学率は 57.7%（全国第 6 位）で、前年に比べ 2.0 ポイント上昇し、過去最高となりました。男女別にみると、男子 57.2%、女子 58.3% で、前年に比べ男子、女子それぞれ 2.1 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 51.2%（男子 50.0%、女子 52.5%）となっています。

（表 2-4, 図 2-2, 統計表第 50 表）

図 2-2 愛知県及び全国の大学等進学率及び就職率の推移（高等学校）

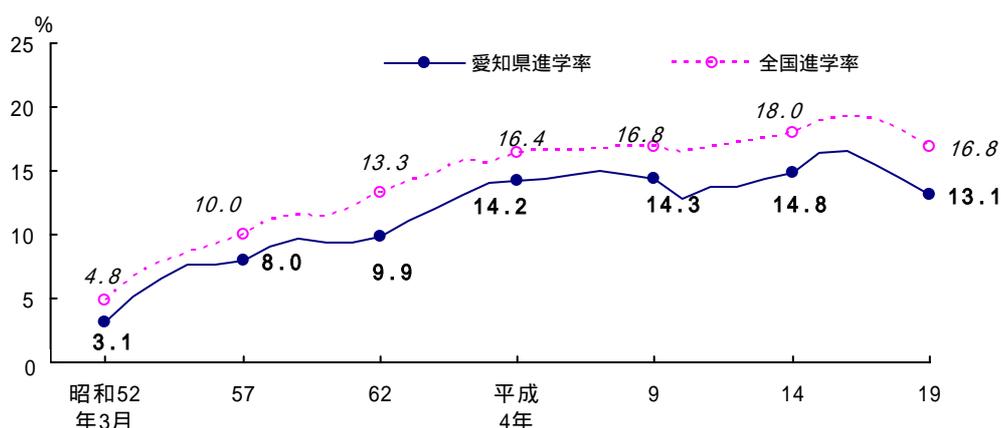


イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は、8,184 人（男子 3,020 人、女子 5,164 人）で、前年に比べ 981 人（10.7%）減少しており、卒業者数の 13.1%（男子 9.6%、女子 16.7%）を占めています。

（表 2-4, 表 2-5, 図 2-3, 統計表第 50 表）

図 2-3 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は、3,447人（男子2,495人、女子952人）で、前年に比べ336人（8.9%）減少しており、卒業者数の5.5%（男子7.9%、女子3.1%）を占めています。

入学先をみると、専修学校（一般課程・高等課程）72人、各種学校3,375人で、前年に比べ専修学校（一般課程・高等課程）は127人（63.8%）、各種学校は209人（5.8%）それぞれ減少しています。卒業者数に占める割合は、専修学校（一般課程・高等課程）等0.1%、各種学校5.4%となっています。（表2-4、表2-5、統計表第50表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は、99人（男子84人、女子15人）で、前年に比べ9人（8.3%）減少しており、卒業者数の0.2%（男子0.3%、女子0.0%）を占めています。（表2-4、表2-5、統計表第50表）

表 2-5 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

単位：人

区 分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程・高等課程）		公共職業能力 開発施設等
			専修学校 （一般課程・高等課程）	各種学校	
平成15年3月	11,036	5,714	221	5,493	142
16	10,768	5,094	198	4,896	144
17	9,866	4,319	271	4,048	132
18	9,165	3,783	199	3,584	108
19	8,184	3,447	72	3,375	99

オ 就職者総数

就職者総数は、12,125人（男子6,699人、女子5,426人）で、前年に比べ266人（2.2%）増加しています。

就職率は19.4%で、前年に比べ0.8ポイント上昇し、男女別にみると、男子21.3%、女子17.5%で、前年に比べ男子は0.7ポイント、女子は0.9ポイントそれぞれ上昇しています。

なお、全国平均は18.5%となっています。（表2-4、統計表第50表）

就職先を産業別にみると、製造業7,297人（構成比60.2%）、卸売・小売

業 1,323 人(同 10.9%)、サービス業 693 人(同 5.7%)の順となっています。
(図 2-4,統計表第 51 表)

就職先を職業別にみると、生産工程・労務作業者 7,174 人(構成比 59.2%)、事務従事者 1,890 人(同 15.6%)、サービス職業従事者 1,124 人(同 9.3%)の順となっています。これを男女別にみると、男子は生産工程・労務作業者が 5,439 人(同 81.2%)で就職者の 80%以上を占めています。女子は事務従事者が 1,795 人(同 33.1%)、生産工程・労務作業者が 1,735 人(同 32.0%)の順となり、この 2 業種で就職者の約 65%を占めています。

(表 2-6,統計表第 52 表)

就職先を県内県外別にみると、県内 11,794 人(構成比 97.3%)、県外 331 人(同 2.7%)となっています。県内就職率 97.3%(全国第 1 位)は、前年に比べ 0.4 ポイント低下しています。(表 2-6)

図 2-4 産業別就職者数の割合(高等学校)

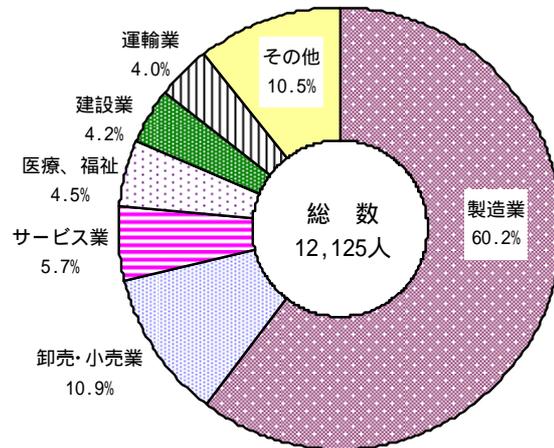


表 2-6 職業別・県内県外別就職者数(高等学校)

区 分	平成 19 年 3 月					平成 18 年 3 月				
	計	構成比	対前年増減率	男	女	計	構成比	対前年増減率	男	女
就職者総数	12,125	100.0	2.2	6,699	5,426	11,859	100.0	4.1	6,647	5,212
専門的・技術的職業従事者	513	4.2	35.0	291	222	380	3.2	20.8	216	164
事務従事者	1,890	15.6	5.4	95	1,795	1,794	15.1	15.4	99	1,695
販売従事者	889	7.3	3.3	190	699	861	7.3	6.5	219	642
サービス職業従事者	1,124	9.3	3.4	285	839	1,087	9.2	11.3	306	781
生産工程・労務作業者	7,174	59.2	0.3	5,439	1,735	7,197	60.7	8.3	5,394	1,803
その他	535	4.4	0.9	399	136	540	4.6	4.3	413	127
県内	11,794	97.3	1.8	6,471	5,323	11,583	97.7	4.2	6,456	5,127
県外	331	2.7	19.9	228	103	276	2.3	0.4	191	85

カ 一時的な仕事に就いた者

一時的な仕事に就いた者は 563 人で、前年に比べ 165 人(22.7%)の減少となり、卒業者に占める割合は 0.9%となっています。

(表 2-4,統計表第 50 表)

3 通信制高等学校

(1) 卒業者数

平成 18 年度間の卒業者数は、1,705 人（男子 1,182 人、女子 523 人）で、前年度間に比べ 65 人（ 3.7%）減少しています。進路別にみると、就職者 567 人（同 33.3%）、専修学校（専門課程）進学者 537 人（構成比 31.5%）、大学等進学者 127 人（同 7.4%）、専修学校（一般課程）等入学者 11 人（同 0.6%）、公共職業能力開発施設等入学者 3 人（同 0.2%）、前記以外の者等 460 人（同 27.0%）となっています。

（表 2-7, 統計表第 53 表）

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

大学等進学者数は 127 人（男子 90 人、女子 37 人）となっています。

進学先をみると、大学（学部）79 人、短期大学（本科）34 人、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学 11 人の順となっています。（表 2-7, 統計表第 53 表）

イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は 537 人（男子 425 人、女子 112 人）となっています。

（表 2-7, 統計表第 53 表）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 11 人（男子 5 人、女子 6 人）で、入学先は専修学校（一般課程・高等課程）7 人、各種学校 4 人となっています。（表 2-7, 統計表第 53 表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は 3 人（男子 3 人）となっています。

（表 2-7, 統計表第 55 表）

オ 就職者総数

就職者総数は 572 人（男子 448 人、女子 124 人）となっています。

（表 2-7, 統計表第 55 表）

就職先を産業別にみると、製造業 294 人（構成比 51.4%）、卸売・小売業 68 人（同 11.9%）、飲食店、宿泊業 62 人（同 10.8%）の順となっています。（統計表第 54 表）

就職先を職業別にみると、生産工程・労務作業者 341 人（構成比 59.6%）、サービス職業従事者 85 人（同 14.9%）、販売従事者が 69 人（同 12.1%）の順となっています。

（統計表第 55 表）

表 2-7 進路別卒業者数（通信制高等学校）

区 分	平成 18 年度間		平成 17 年度間	
	人数	構成比	人数	構成比
卒業者数	1,705	100.0	1,770	100.0
A 大学等進学者	127	7.4	139	7.9
大学（学部）	79	4.6	89	5.0
短期大学（本科）	34	2.0	37	2.1
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	11	0.6	13	0.7
その他	3	0.2	-	-
B 専修学校（専門課程）進学者	537	31.5	621	35.1
C 専修学校（一般課程）等入学者	11	0.6	10	0.6
専修学校（一般課程・高等課程）	7	0.4	6	0.3
各種学校	4	0.2	4	0.2
D 公共職業能力開発施設等入学者	3	0.2	-	-
E 就職者	567	33.3	617	34.9
F 前記以外の者、G 死亡・不詳の者	460	27.0	383	21.6
再掲				
A のうち就職している者	3	0.2	4	0.2
B のうち就職している者	2	0.1	2	0.1
C のうち就職している者	-	-	-	-
D のうち就職している者	-	-	-	-

単位：人、%

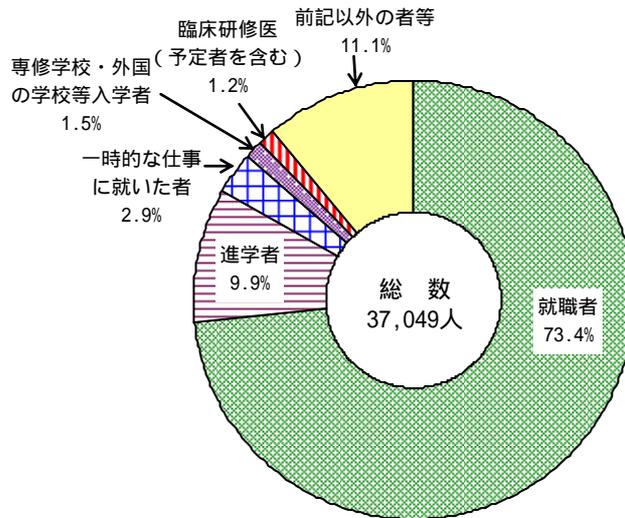
4 大 学（学部）

(1) 卒業生数

卒業生数は、37,049人（男子 20,801人、女子 16,248人）で、前年に比べ 594人（ 1.6%）減少しています。

進路別にみると、就職者 27,206人（構成比 73.4%）、進学者 3,664人（同 9.9%）、一時的な仕事に就いた者 1,088人（同 2.9%）、専修学校・外国の学校等入学者 538人（同 1.5%）、臨床研修医（予定者を含む）455人（同 1.2%）、前記以外の者等 4,098人（同 11.1%）となっています。（図 2-5, 統計表第 56 表）

図 2-5 進路別卒業生数の割合（大学(学部)）



(2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は、27,207人（男子 14,781人、女子 12,426人）で、前年に比べ 464人（1.7%）増加しています。

就職率は 73.4%で、前年に比べ 2.4ポイント上昇しています。男女別にみると、男子 71.1%、女子 76.5%で、前年に比べ男子は 2.5ポイント、女子は 2.4ポイントそれぞれ上昇しています。（表 2-8）

就職先を産業別にみると、製造業 5,416人（同 19.9%）、卸売・小売業 5,268人（構成比 19.4%）、サービス業 3,874人（同 14.2%）の順となっています。

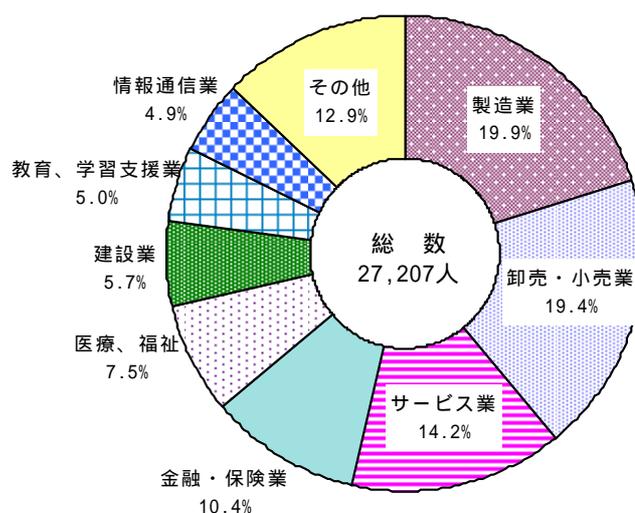
（図 2-6, 統計表第 57 表）

表 2-8 就職率の推移（大学(学部)）

単位：%、ポイント

区 分	総 数	対前年増減	男		女	
			対前年増減	対前年増減		
平成15年3月	61.2	1.5	58.0	1.7	65.7	1.2
16	62.4	1.2	59.7	1.7	66.1	0.4
17	67.6	5.2	64.8	5.1	70.9	4.8
18	71.0	3.4	68.6	3.8	74.1	3.2
19	73.4	2.4	71.1	2.5	76.5	2.4

図 2-6 産業別就職者数の割合（大学(学部)）



5 大学院

(1) 修了者数

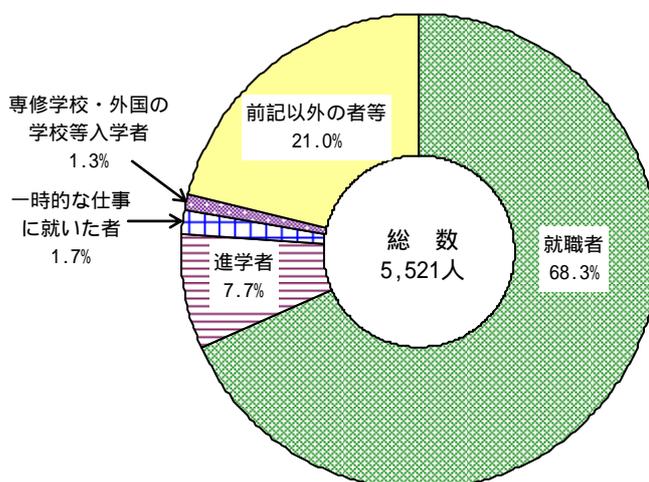
修了者数は、5,521人(男子3,944人、女子1,577人)で、前年に比べ120人(2.2%)増加しています。

課程別にみると、修士課程(修士課程及び博士前期課程)4,402人、博士課程(博士後期課程及び医・歯学の博士課程)959人、専門職学位課程160人で、前年に比べ修士課程は49人(1.1%)減少、博士課程は72人(8.1%)、専門職学位課程は97人(154.0%)それぞれ増加しています。

進路別にみると、就職者3,770人(構成比68.3%)、進学者425人(同7.7%)、一時的な仕事に就いた者95人(同1.7%)、専修学校・外国の学校等入学者72人(同1.3%)、前記以外の者等1,159人(同21.0%)、の順となっています。

(図 2-7、統計表第 59 表)

図 2-7 進路別修了者数の割合（大学院）



(2) 就職者総数

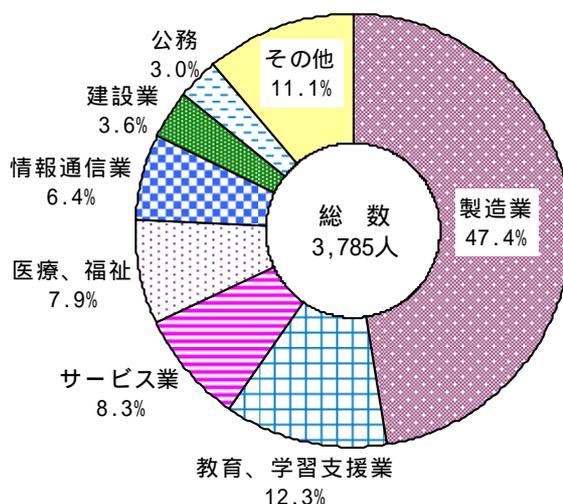
就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は3,785人（男子2,935人、女子850人）で、前年に比べ254人（7.2%）増加しています。

就職率は68.6%で、前年に比べ3.2ポイント上昇しています。課程別にみると、修士課程73.4%、博士課程57.8%、専門職学位課程0.6%で、前年に比べ、修士課程は4.8ポイント、博士課程は4.0ポイント、専門職学位課程は0.6ポイントそれぞれ上昇しています。

就職先を産業別にみると、製造業1,793人（構成比47.4%）、教育、学習支援業467人（同12.3%）、サービス業314人（同8.3%）の順となっています。

（図2-8、統計表第59表、第60表）

図2-8 産業別就職者数の割合（大学院）



6 短期大学（本科）

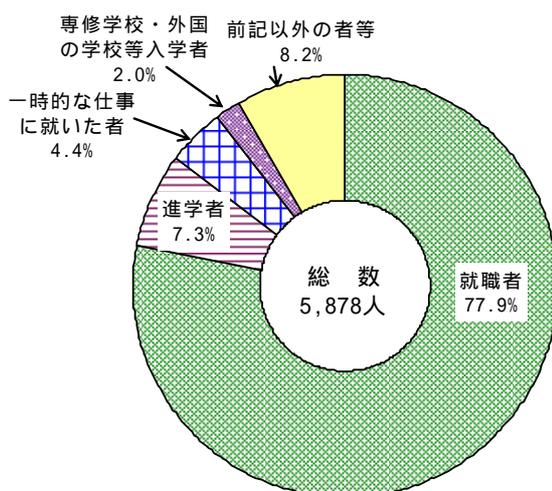
(1) 卒業生数

卒業生数は、5,878人（男子381人、女子5,497人）で、前年に比べ264人（4.3%）減少しています。

進路別にみると、就職者4,581人（構成比77.9%）、進学者432人（同7.3%）、一時的な仕事に就いた者261人（同4.4%）、専修学校・外国の学校等入学者120人（同2.0%）、前記以外の者等484人（同8.2%）となっています。

（図2-9、統計表第62表）

図 2-9 進路別卒業生数の割合（短期大学(本科)）



(2) 就職者総数

就職者総数は 4,581 人（男子 251 人、女子 4,330 人）で、前年に比べ 53 人（1.1%）減少しています。

就職率は 77.9% で、前年に比べ 2.5 ポイント上昇しています。男女別にみると、男子 65.9%、女子は 78.8% で、前年に比べ男子は 2.2 ポイント、女子は 2.4 ポイントそれぞれ上昇しています。（表 2-9）

就職先を産業別にみると、医療、福祉業 1,575 人（構成比 34.4%）、製造業 673 人（同 14.7%）、教育、学習支援業 653 人（同 14.3%）の順となっています。

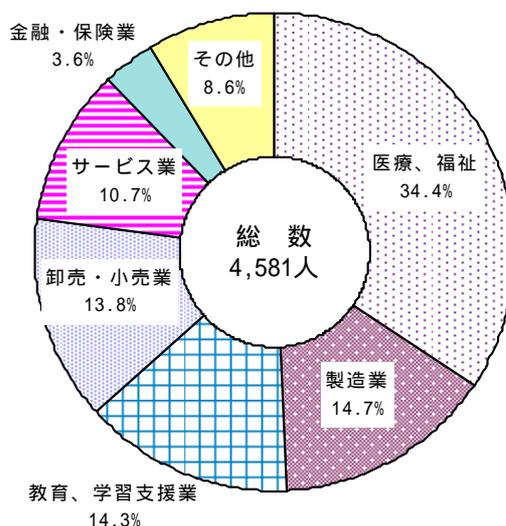
（図 2-10, 統計表第 63 表）

表 2-9 就職率の推移（短期大学(本科)）

単位：%、ポイント

区 分	総 数	対前年増減		男	対前年増減		女	対前年増減	
平成15年3月	67.9		0.0	66.3		7.3	68.0		0.4
16	70.0		2.1	67.6		1.3	70.1		2.1
17	72.4		2.4	64.3		3.3	73.0		2.9
18	75.4		3.0	63.7		0.6	76.4		3.4
19	77.9		2.5	65.9		2.2	78.8		2.4

図 2-10 産業別就職者数（短期大学(本科)）



7 盲学校・聾学校・養護学校中学部

中学部卒業生数は431人（盲学校13人、聾学校33人、養護学校385人）で、進路別にみると、高等学校等進学者409人（構成比94.9%）、専修学校（高等課程）進学者2人（同0.5%）、前記以外の者等20人（同4.6%）となっています。

高等学校等進学者を学校種別にみると、盲学校13人、聾学校33人、養護学校363人となっています。（図2-11,統計表第66表）

8 盲学校・聾学校・養護学校高等部

高等部卒業生数は782人（盲学校14人、聾学校41人、養護学校727人）で、進路別にみると、就職者274人（構成比35.0%）、大学等進学者33人（同4.2%）、公共職業能力開発施設等入学者24人（同3.1%）、前記以外の者等451人（同57.7%）となっています。（図2-12,統計表第67表）

大学等進学者を学校種別にみると、盲学校8人、聾学校22人、養護学校3人となっており、進学先は大学（学部）へ盲学校2人、聾学校6人、養護学校3人、短期大学（本科）へ聾学校2人、特別支援学校高等部（専攻科）へ盲学校6人、聾学校14人となっています。（統計表第68表）

公共職業能力開発施設等入学者を学校種別にみると、養護学校24人となっています。（統計表第67表）

なお、就職者総数（進学者または入学者のうち就職している者を含む）は276人となっています。学校種別にみると、盲学校1人、聾学校18人、養護学校257人で、就職先を産業別にみると、製造業179人（構成比64.9%）、卸売・小売業29人（同10.5%）、サービス業26人（同9.4%）の順となっています。（統計表第69表）

図 2-11 進路別卒業者の割合
（盲・聾・養護学校(中学部)）

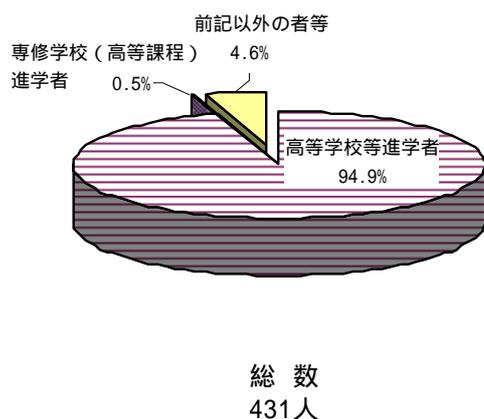
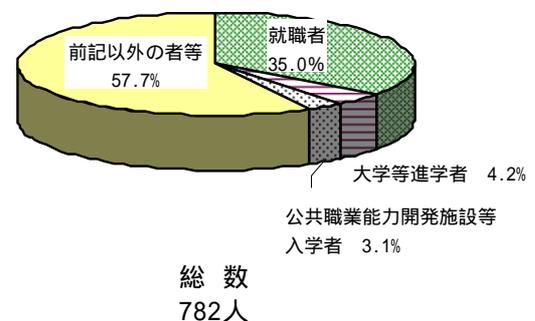


図 2-12 進路別卒業者の割合
（盲・聾・養護学校(高等部)）



不就学学齡児童生徒調査

就学免除者・就学猶予者

平成 19 年度に市町村教育委員会から就学の免除又は就学の猶予を受けている者は、学齡児童（6～11 歳）が就学免除者 2 人、就学猶予者 106 人、学齡生徒（12～14 歳）が就学免除者 1 人、就学猶予者 38 人となっています。（表 3, 統計表第 72 表）

理由別にみると、学齡児童は、就学免除者が肢体不自由 1 人、病弱・虚弱 1 人となっており、就学猶予者が肢体不自由 1 人（就学猶予者数の 0.9%）、その他 105 人（同 99.1%）となっています。また、学齡生徒は、就学免除者がその他 1 人となっており、就学猶予者が児童自立支援施設又は少年院にいるため 5 人（同 13.2%）、その他 33 人（同 86.8%）となっています。（図 3, 統計表第 71 表）

1 年以上居所不明者は 61 人で、前年度に比べ 21 人（52.5%）増加しています。児童・生徒別にみると、学齡児童 46 人、学齡生徒 15 人で、前年度に比べ学齡児童は 17 人（58.6%）、学齡生徒は 4 人（36.4%）それぞれ増加しています。

平成 18 年度間の児童・生徒の死亡者数は 33 人で、前年度間に比べ 32 人（49.2%）減少しています。児童・生徒別にみると、学齡児童 18 人、学齡生徒 15 人で、前年度間に比べ学齡児童は 13 人（41.9%）、学齡生徒は 19 人（55.9%）それぞれ減少しています。（統計表第 71 表）

図 3 理由別就学猶予者の割合

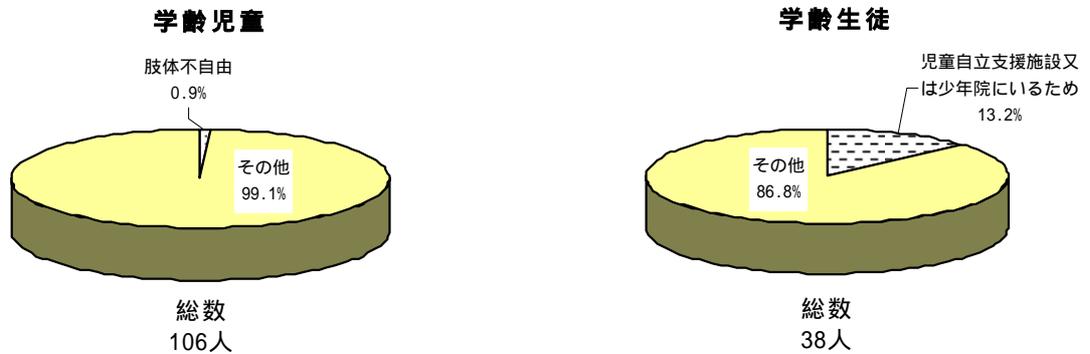


表 3 不就学学齡児童生徒数の推移

単位：人，%

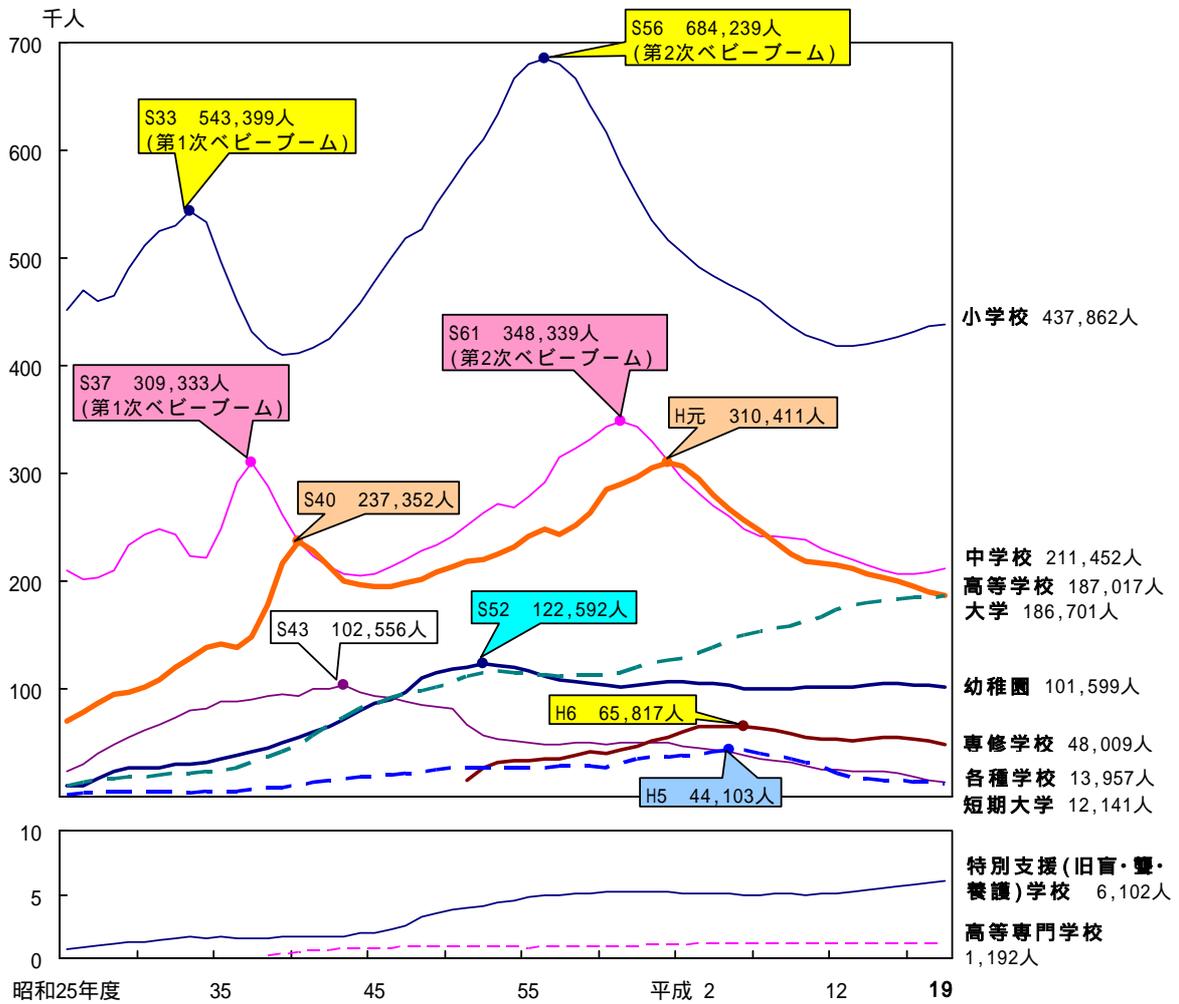
区 分	総 数	就 学 免 除 者				就 学 猶 予 者				
		学 齡 児 童	学 齡 生 徒	学 齡 児 童	学 齡 生 徒					
平成15年度	73	15.9	1	50.0	1	-	55	27.9	16	11.1
16	87	19.2	1	0.0	-	-	63	14.5	23	43.8
17	96	10.3	2	100.0	-	-	73	15.9	21	8.7
18	129	34.4	2	0.0	-	-	88	20.5	39	85.7
19	147	14.0	2	0.0	1	-	106	20.5	38	2.6

参 考 資 料

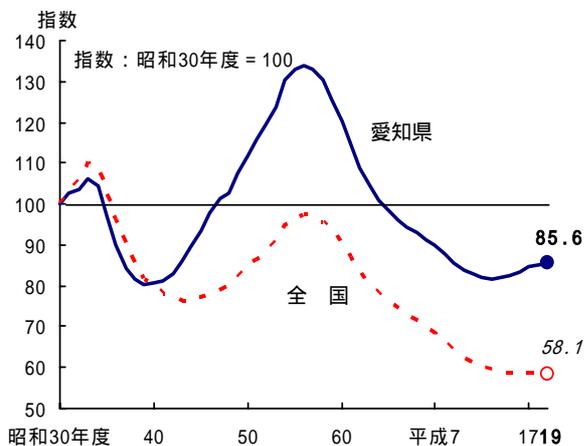
グラフでみるあいちの学校

< 在学者数等の推移 >

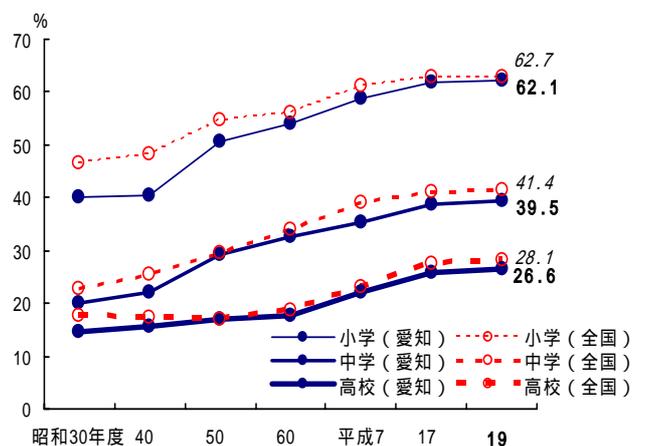
在学者数の推移



小学校児童数(指数)の推移



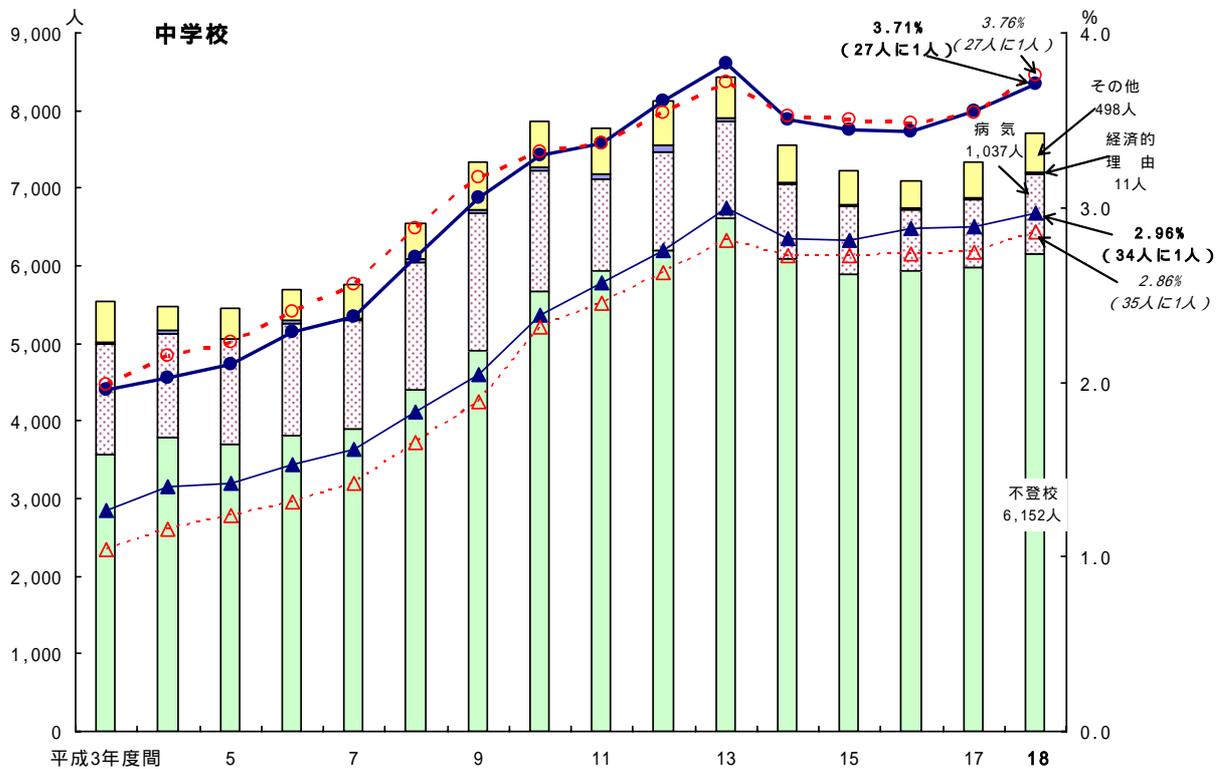
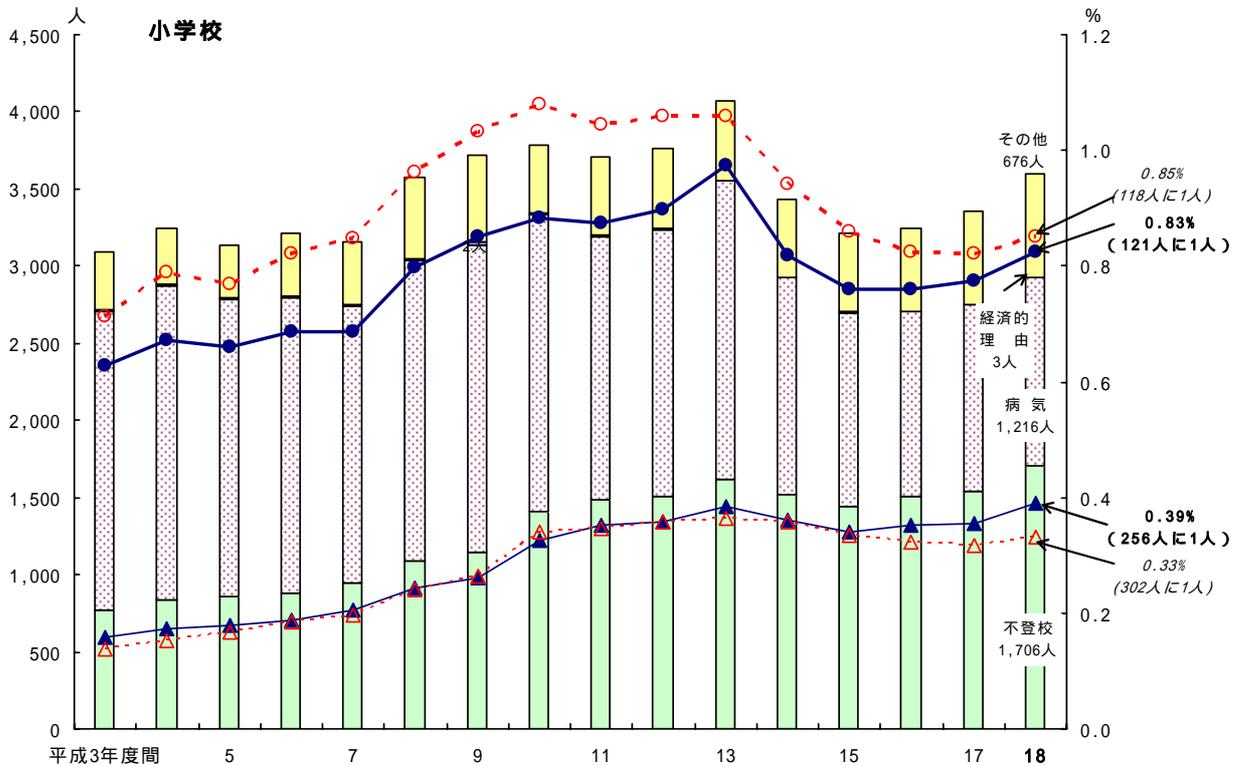
女性教員の割合の推移



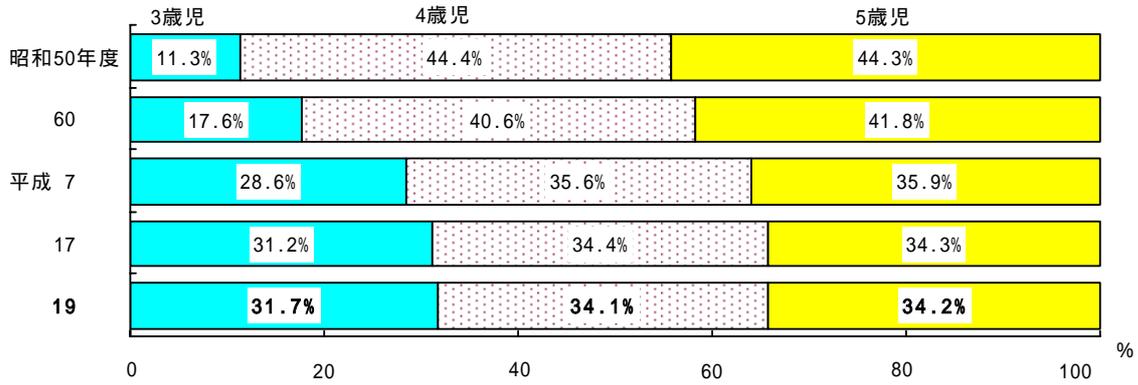
全児童生徒数に占める理由別長期欠席者数の推移（小学校・中学校）

● 長欠率（愛知県） ▲ 不登校率（愛知県） ○ 長欠率（全国） △ 不登校率（全国）

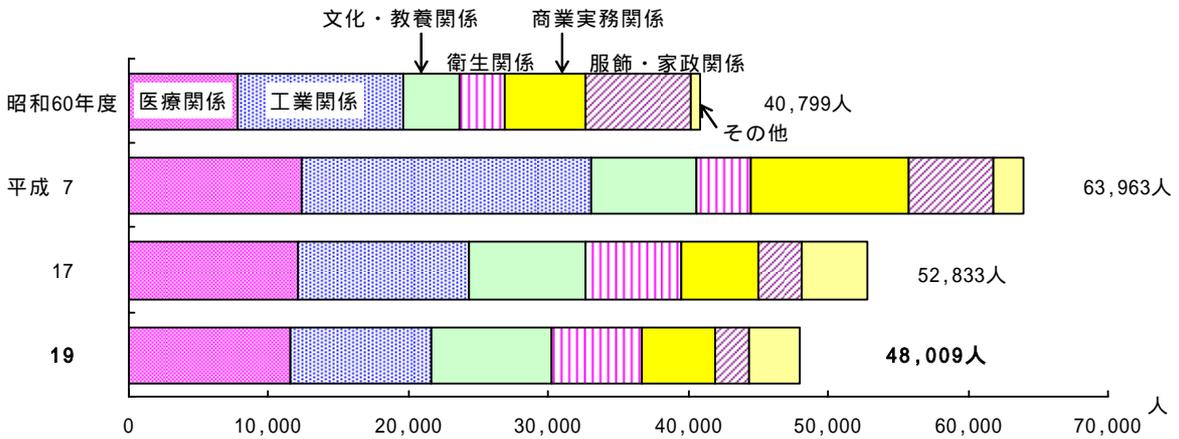
長欠（不登校）率 = 長期欠席（不登校）者数 ÷ 全児童生徒数 × 100



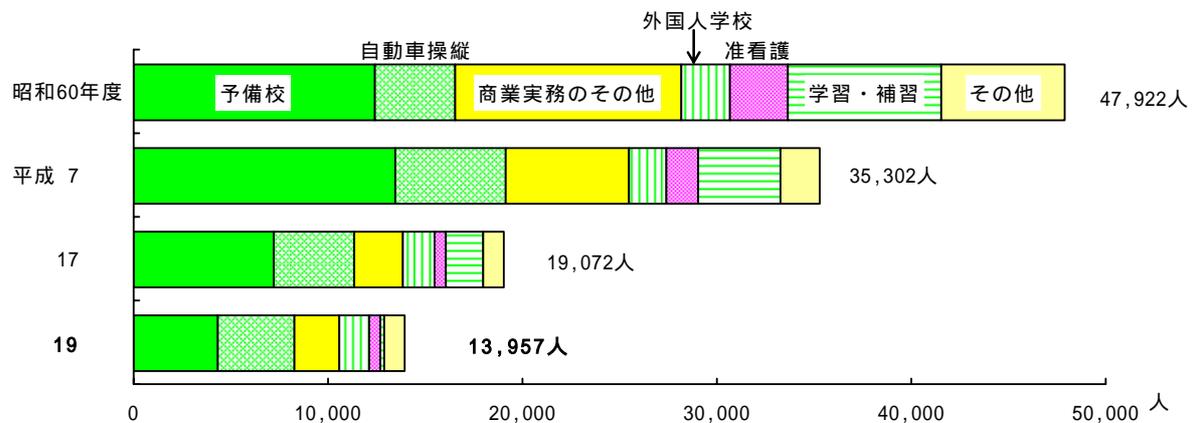
園児数の年齢別構成比の推移（幼稚園）



分野別生徒数の推移（専修学校）



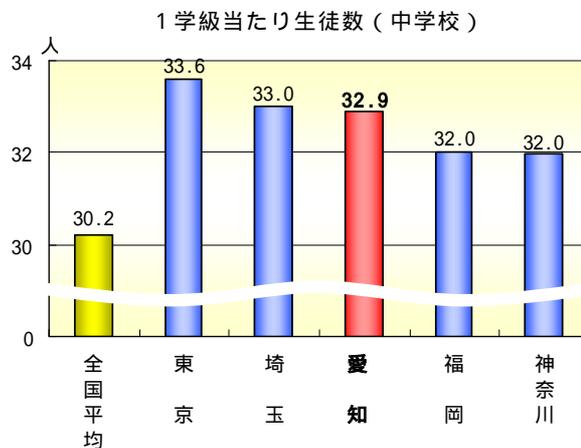
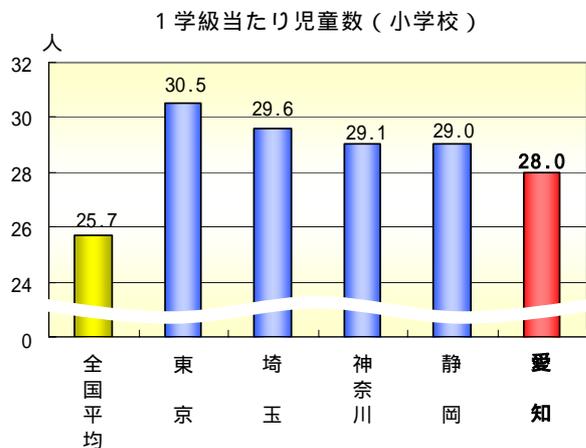
課程別生徒数の推移（各種学校）



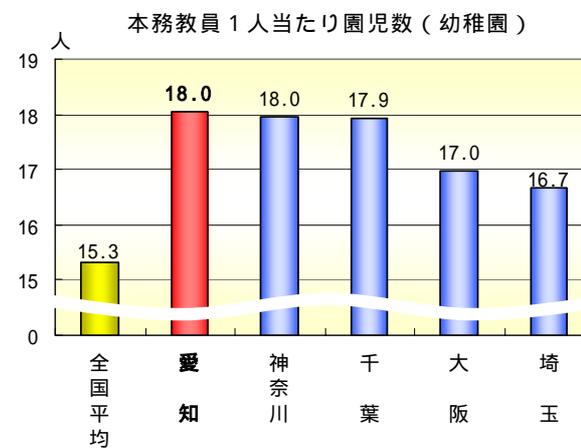
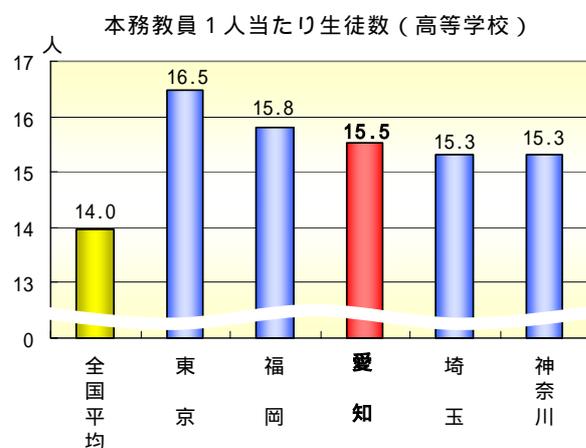
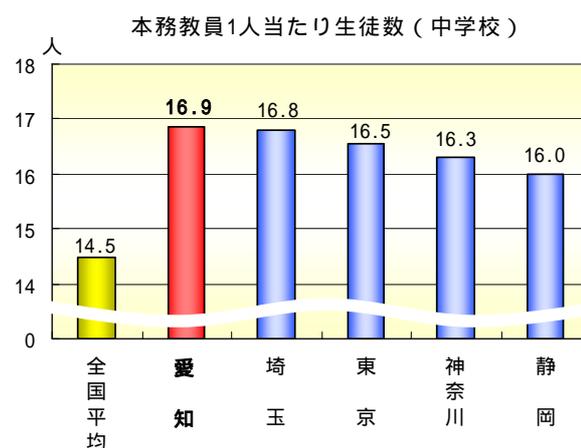
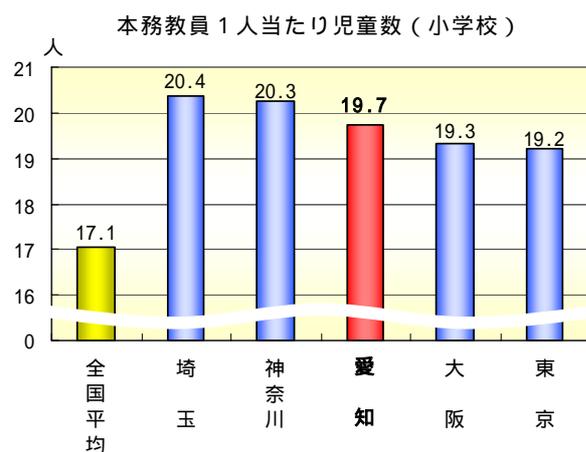
- 他 県 と の 比 較 -

< 児童・生徒・園児・教員の状況 >

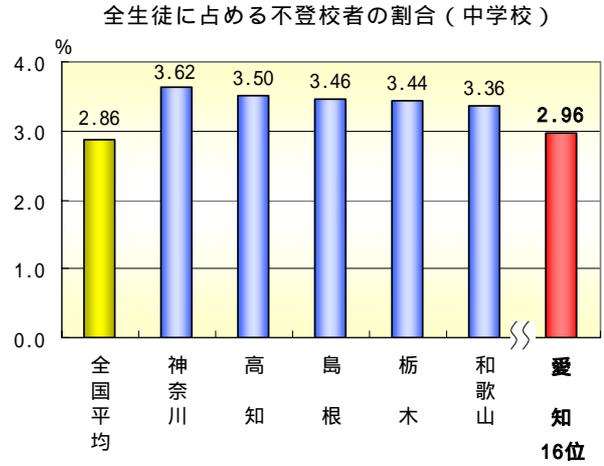
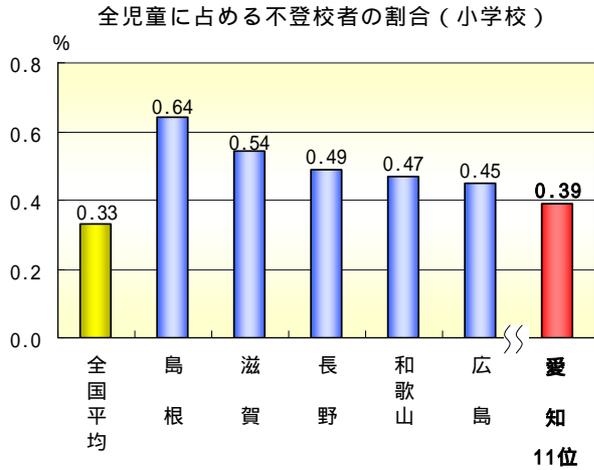
1 学級当たり児童生徒数



本務教員 1 人当たり児童生徒園児数

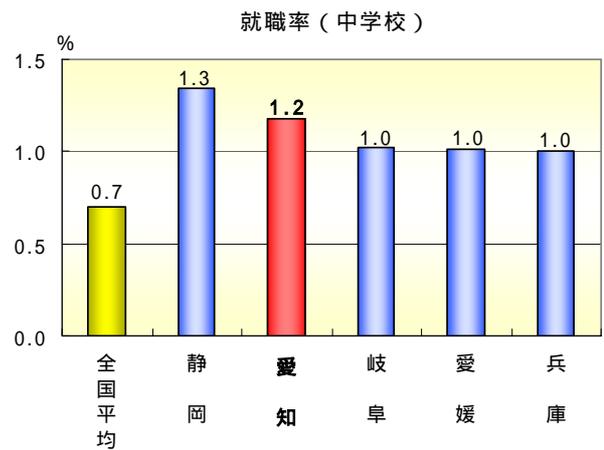
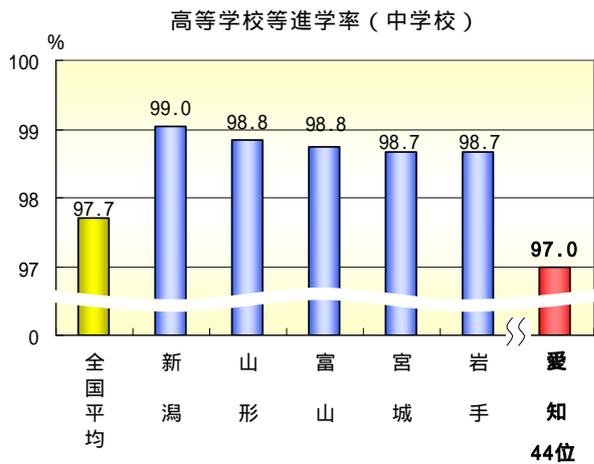


全児童生徒数に占める不登校者の割合

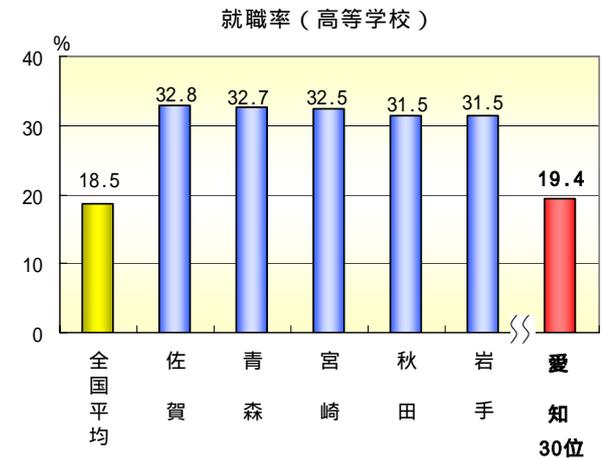
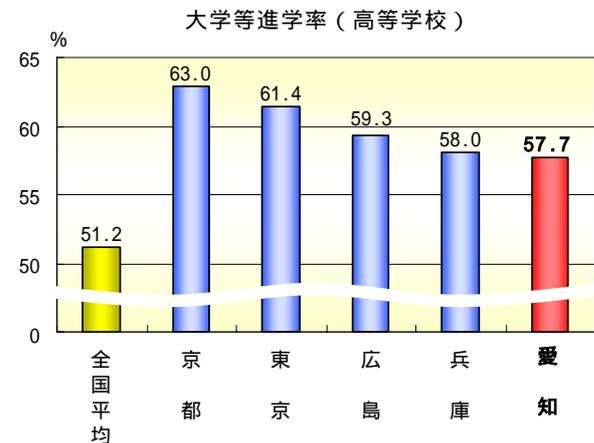


< 進路の状況 >

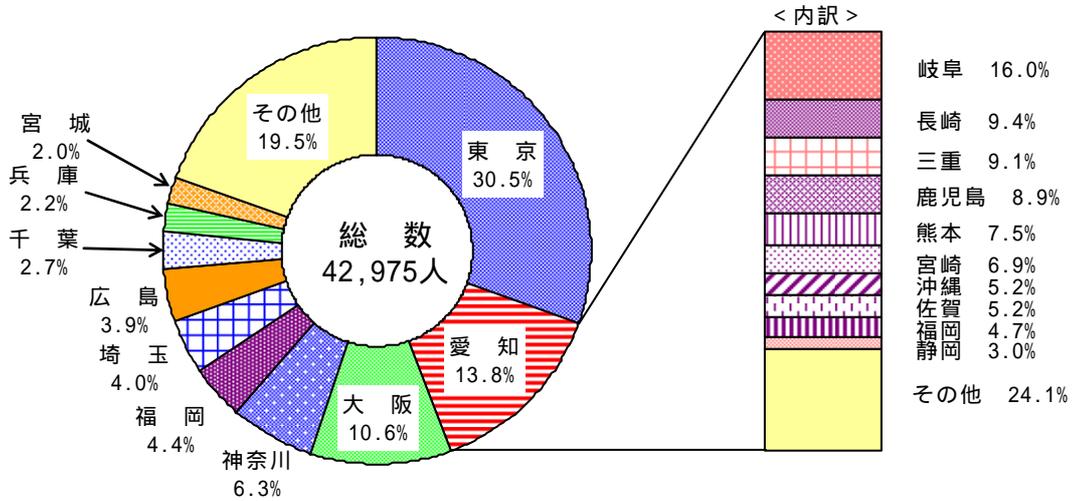
中学校卒業生



高等学校卒業生



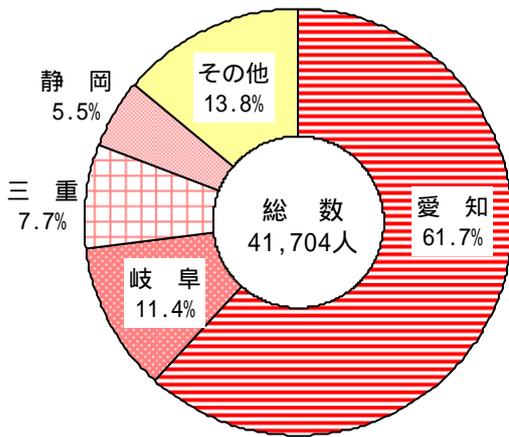
全国の就職先別県外就職者数の割合（高等学校）



注 「大学等進学者」、「専修学校（専門課程）進学者」、「専修学校（一般課程）等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職しているものを含む。

入学者の出身高等学校の所在地県別割合（大学(学部)・短期大学(本科)）

県内大学（学部）入学者



県内短期大学（本科）入学者

